

加茂市の障がいのある人の状況

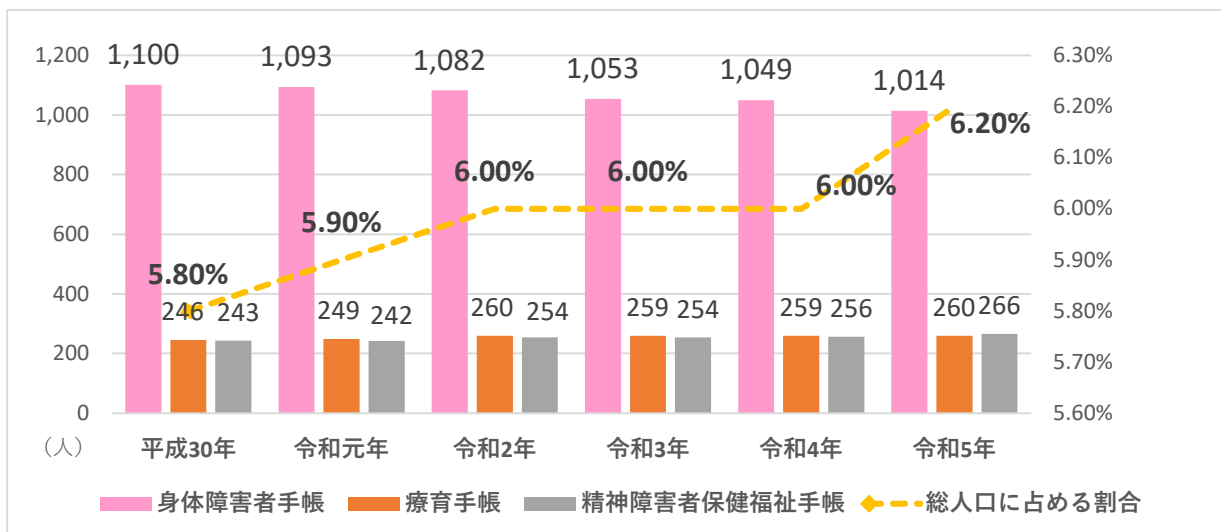
1 障がい福祉の状況

(1)障がいのある人の状況

① 障害者手帳所持者の状況

精神や療育の障害者手帳所持者数は増加傾向で推移していますが、身体障害者手帳の所持者数は減少し、それ以上に総人口が減少しており、総人口に占める割合は微増傾向にあります。障害者手帳の種類別にみると、身体障がい者数が減少している一方で、知的障がい者、精神障がい者は増加傾向にあり、特に精神障がい者数は現在266人、知的障がい者数は現在260人となっています。(令和5年4月1日)

■図 2-1 総人口に占める障害者手帳所持者の割合



■表 2-1 総人口に占める障害者手帳所持者総数の推移

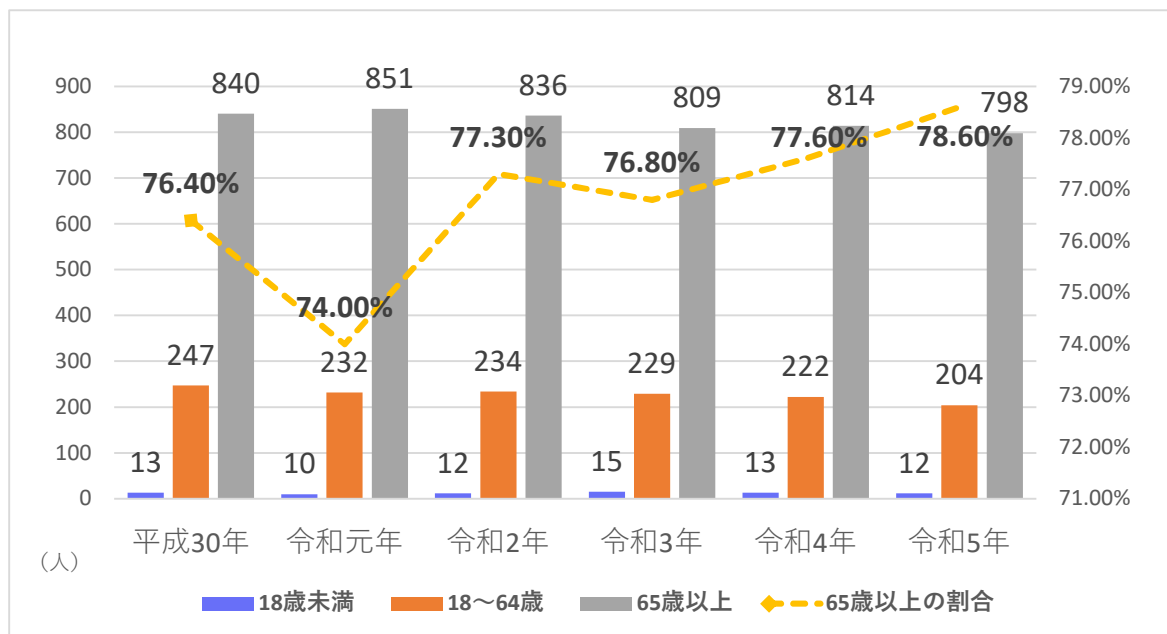
区分	第5期			第6期		
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総人口	27,510人	27,004人	26,501人	25,924人	25,361人	24,862人
障害者手帳所持者数	1,589人	1,584人	1,596人	1,566人	1,564人	1,540人
身体障害者手帳	1,100人	1,093人	1,082人	1,053人	1,049人	1,014人
療育手帳	246人	249人	260人	259人	259人	260人
精神障害者保健福祉手帳	243人	242人	254人	254人	256人	266人
人口に占める割合	5.8%	5.9%	6.0%	6.0%	6.0%	6.2%

資料：住民基本台帳・障害者手帳台帳(各年4月1日現在)

② 身体障がいのある人の状況

身体障がいのある人の年齢別の推移をみると、65歳以上の割合が増加しています。

■図 2-2 身体障害者手帳所持者に占める 65 歳以上の割合



■表 2-2 身体障がい者の年齢別推移

区分	第 5 期			第 6 期		
	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
手帳所持者数	1,100人	1,093人	1,082人	1,053人	1,049人	1,014人
18歳未満	13人	10人	12人	15人	13人	12人
18～64歳	247人	232人	234人	229人	222人	204人
65歳以上	840人	851人	836人	809人	814人	798人
65歳以上の割合	76.4%	74.0%	77.3%	76.8%	77.6%	78.6%

資料：身体障害者手帳台帳(各年 4 月 1 日現在)

障がいの部位別の状況をみると、全体的にはほぼ横ばいで、視覚、聴覚障がいが増加傾向にあります。

■表 2-3 身体障がい者の障がい部位別の推移

区分	第 5 期			第 6 期		
	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
手帳所持者数	1,100人	1,093人	1,082人	1,053人	1,049人	1,014人
視覚障がい	65人	67人	65人	66人	68人	70人
聴覚・平衡機能障がい	93人	88人	87人	86人	94人	100人
音声・言語・そしゃく機能障がい	11人	10人	9人	10人	11人	12人
肢体不自由	613人	596人	575人	551人	538人	519人
内部障がい	318人	332人	346人	340人	338人	313人

資料：身体障害者手帳台帳(各年 4 月 1 日現在)

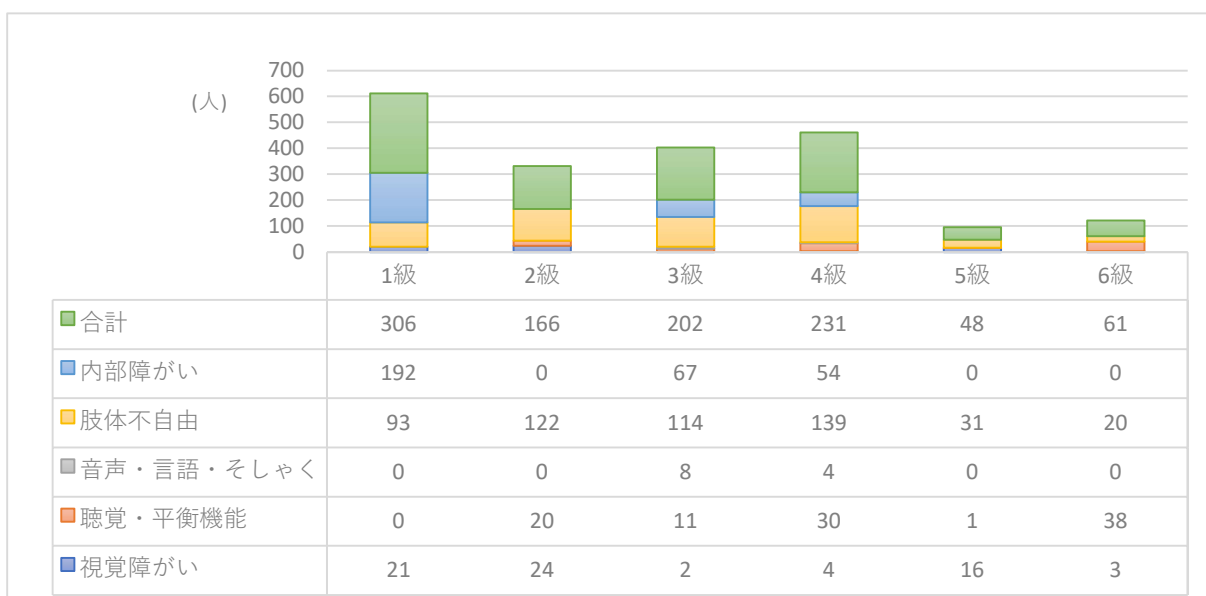
身体障害者手帳の等級の状況を見ると、1級が最も多く、令和5年4月1日現在で306人(全体の30.2%)となっています。

■表 2-4 身体障害者手帳の等級別の推移

区分	第 5 期			第 6 期		
	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
手帳所持者数	1,100人	1,093人	1,082人	1,053人	1,049人	1,014人
1 級	342人	338人	333人	314人	318人	306人
2 級	187人	176人	173人	176人	172人	166人
3 級	231人	241人	235人	232人	219人	202人
4 級	233人	234人	243人	236人	237人	231人
5 級	46人	48人	46人	43人	45人	48人
6 級	61人	56人	52人	52人	58人	61人

資料:身体障害者手帳台帳(各年 4 月 1 日現在)

■図 2-3 身体障がい者の障がい部位別の等級の状況



■表 2-5 身体障がい者の障がい部位別の等級の状況

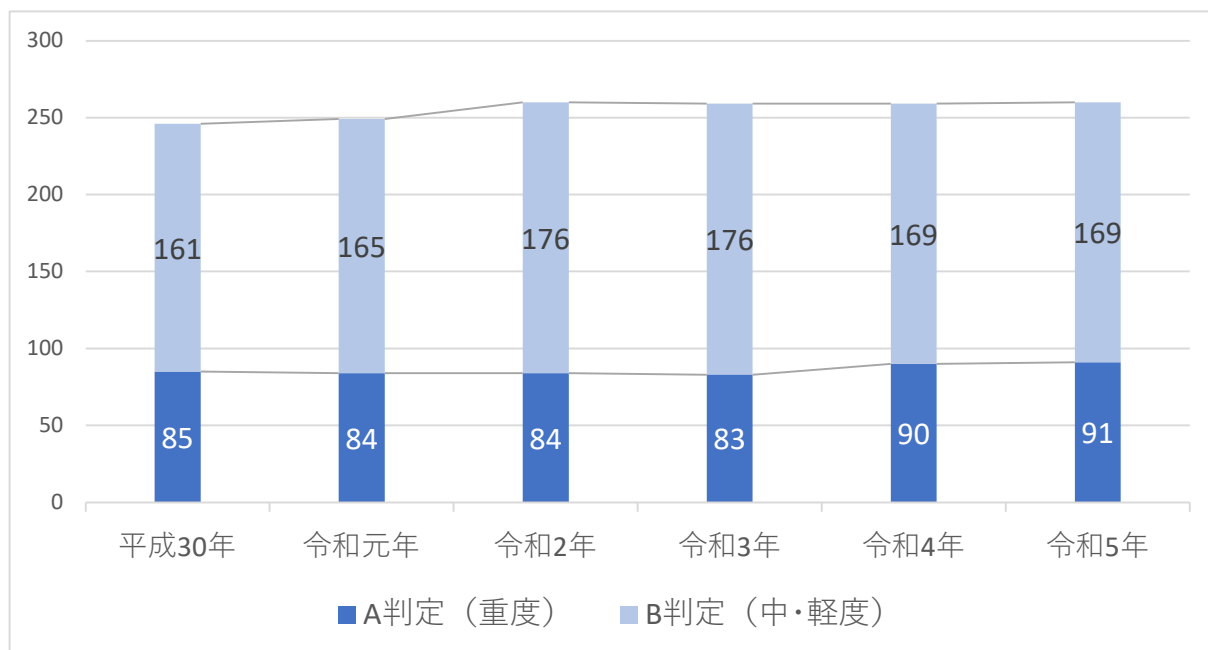
区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
視覚障がい	21人	24人	2人	4人	16人	3人
聴覚・平衡機能	0人	20人	11人	30人	1人	38人
音声・言語・そしゃく	0人	0人	8人	4人	0人	0人
肢体不自由	93人	122人	114人	139人	31人	20人
内部障がい	192人	0人	67人	54人	0人	0人
合計	306人	166人	202人	231人	48人	61人

資料:身体障害者手帳台帳(令和 5 年 4 月 1 日現在)

③ 知的障がいのある人の状況

療育手帳所持者をみると、A判定(重度)、B判定(中・軽度)ともに増加傾向にあります。令和5年4月1日現在、A判定が91人(35.0%)、B判定が169人(65.0%)となっています。

■図 2-4 療育手帳の判定別の推移



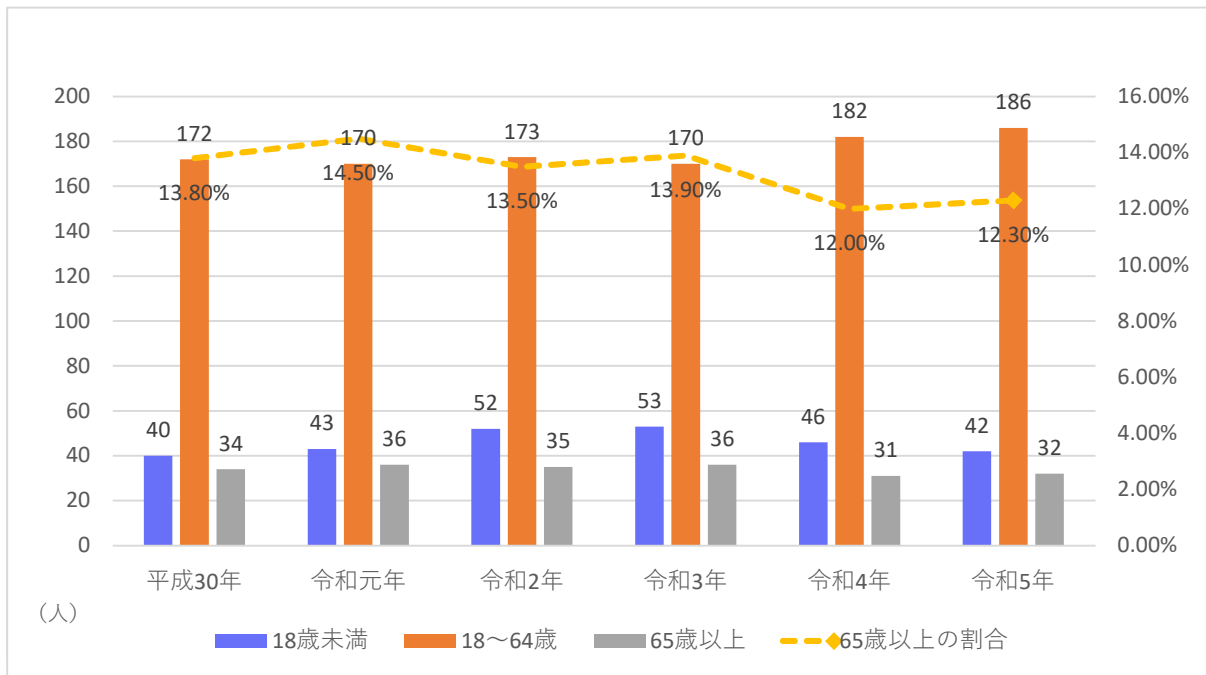
■表 2-6 療育手帳の判定別の推移

区分	第5期			第6期		
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
手帳所持者数	246人	249人	260人	259人	259人	260人
A判定(重度)	85人	84人	84人	83人	90人	91人
B判定(中・軽度)	161人	165人	176人	176人	169人	169人

資料:療育手帳台帳(各年4月1日現在)

療育手帳所持者のA、B判定ともに割合は増加傾向にあります。

■図 2-5 療育手帳所持者に占める 65 歳以上の割合



■表 2-7 知的障がい者の年齢別推移

区分	第 5 期			第 6 期		
	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
手帳所持者数	246 人	249 人	260 人	259 人	259 人	260 人
18 歳未満	40 人	43 人	52 人	53 人	46 人	42 人
18～64 歳	172 人	170 人	173 人	170 人	182 人	186 人
65 歳以上	34 人	36 人	35 人	36 人	31 人	32 人
65 歳以上の割合	13.8%	14.5%	13.5%	13.9%	12.0%	12.3%

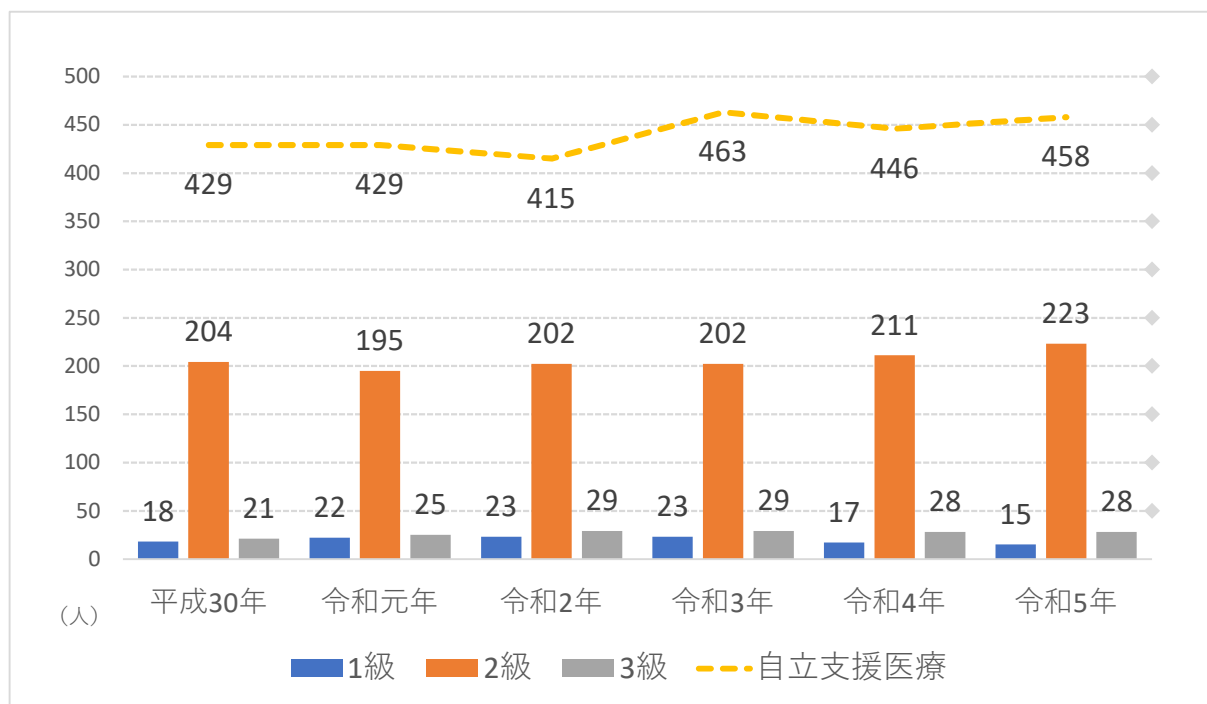
資料:療育手帳台帳(各年 4 月 1 日現在)

④ 精神障がいのある人及び自立支援医療受給者の状況

精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、2級と3級が増加傾向にあります。令和5年4月1日現在、2級が大半を占め223人で83.8%を占めています。1級は15人(5.6%)、3級は28人(10.5%)となっています。

また、精神科または心療内科等に通院している人が利用できる自立支援医療(精神通院医療)の受給者数も増加傾向にあり、令和5年4月1日現在、458人となっています。

■図 2-6 精神障害者保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者の推移



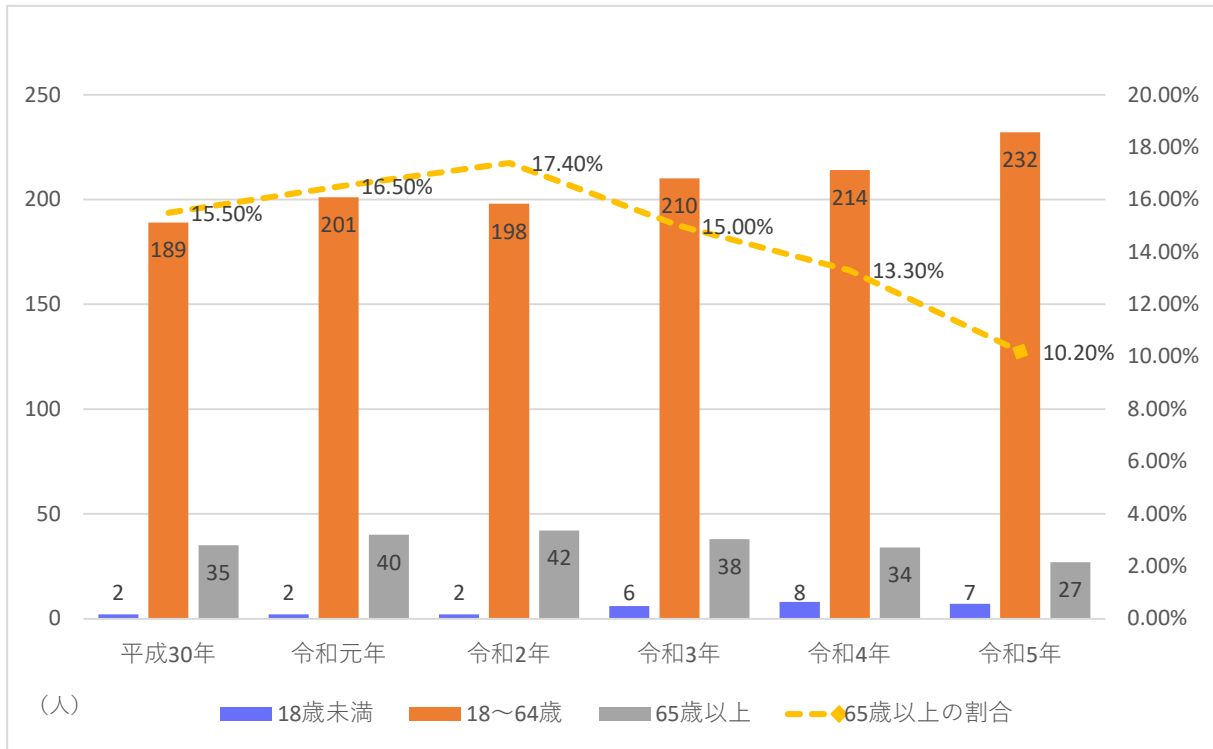
■表 2-8 精神障害者保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者の推移

区分	第5期			第6期		
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
手帳所持者数	243人	242人	254人	254人	256人	266人
1級	18人	22人	23人	23人	17人	15人
2級	204人	195人	202人	202人	211人	223人
3級	21人	25人	29人	29人	28人	28人
自立支援医療	429人	429人	415人	463人	446人	458人

資料：精神障害者保健福祉手帳台帳(各年4月1日現在)

精神障害者保健福祉手帳所持者の65歳以上の割合は、平成30年から減少傾向となっています。

■図 2-7 精神障害者保健福祉手帳所持者に占める 65 歳以上の割合



■表 2-9 精神障がい者の年齢別推移

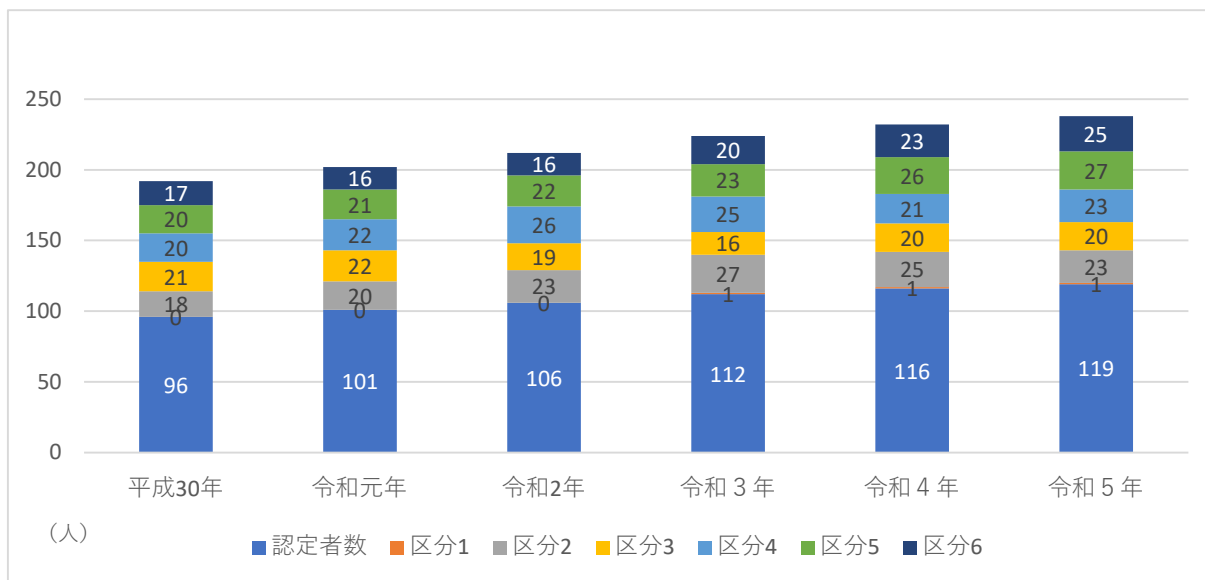
区分	第5期			第6期		
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
手帳所持者数	226人	243人	242人	254人	256人	266人
18歳未満	2人	2人	2人	6人	8人	7人
18～64歳	189人	201人	198人	210人	214人	232人
65歳以上	35人	40人	42人	38人	34人	27人
65歳以上の割合	15.5%	16.5%	17.4%	15.0%	13.3%	10.2%

資料：精神障害者保健福祉手帳台帳(各年4月1日現在)

⑤ 障害支援区分別の認定者の状況

障害者総合支援法では、公平な障害福祉サービス利用を実現するために、障害福祉サービスの必要性を明確に判断するための「障害支援区分」を設け、区分1から区分6までの6段階に分けて認定します。区分6が最も支援が必要と認定された人となっています。障害支援区分認定者数は増加傾向にあります。

■図 2-8 障害支援区分認定者の推移



■表 2-10 障害支援区分認定者数の推移(実人数)

区分	第5期			第6期		
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
認定者数	96人	101人	106人	112人	116人	119人
区分1	0人	0人	0人	1人	1人	1人
区分2	18人	20人	23人	27人	25人	23人
区分3	21人	22人	19人	16人	20人	20人
区分4	20人	22人	26人	25人	21人	23人
区分5	20人	21人	22人	23人	26人	27人
区分6	17人	16人	16人	20人	23人	25人

資料:障害福祉サービス台帳(各年4月1日現在)

障がいの種類別にみると、認定者数が最も多いのは知的障がいで61人となっています。身体障がいで区分6の割合が高くなっています。

■表 2-11 障がいの種類別の障害支援区分認定者数

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
身体障がい	0人	5人	1人	8人	9人	17人	40人
知的障がい	0人	7人	15人	15人	17人	7人	61人
精神障がい	1人	11人	4人	0人	1人	1人	18人

資料:障害福祉サービス台帳(令和5年4月1日現在)

2 アンケート調査の概要

(1)調査の概要

調査目的

令和6年度を初年度とする「第7期加茂市障がい福祉計画」を策定するため障がいのある人を対象としたアンケート調査を実施し、計画の基礎資料としました。

調査内容

- 調査月：令和5年9月
- 調査基準日：令和5年9月1日
- 調査対象者：手帳をお持ちの人、障害福祉サービス等を利用している人の半数を無作為抽出
- 調査項目：「基本属性」、「障がいの状況」、「生活の場」、「外出」、「就労」、「障がい福祉サービスの利用状況」等
- 回収方法：郵送による配布・回収

回収結果

配布数	790 件
回収数(回収率)	455 件(57.6%)
有効回答数	455 件

調査結果の見方

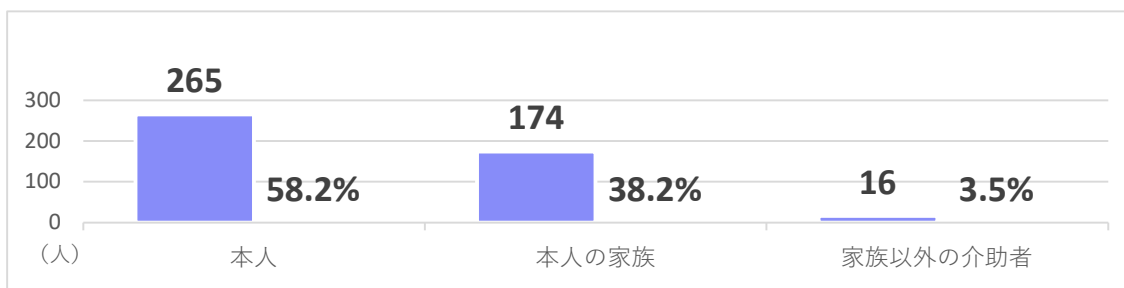
- ① 回答の比率は、全て小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ② 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、全ての回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。

(2)アンケート結果の概要

① 回答者

問1. お答えいただくのは、どなたですか

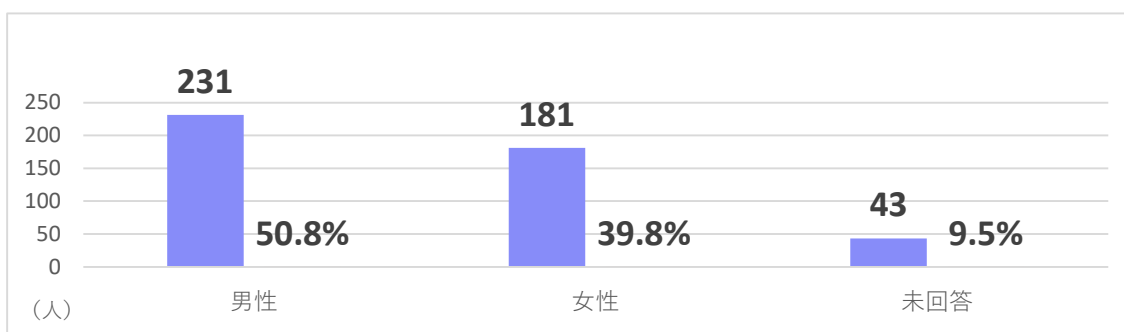
「ご本人が記入」が 58.2%となっています。



② 性自認

性自認（性別）をお答えください。

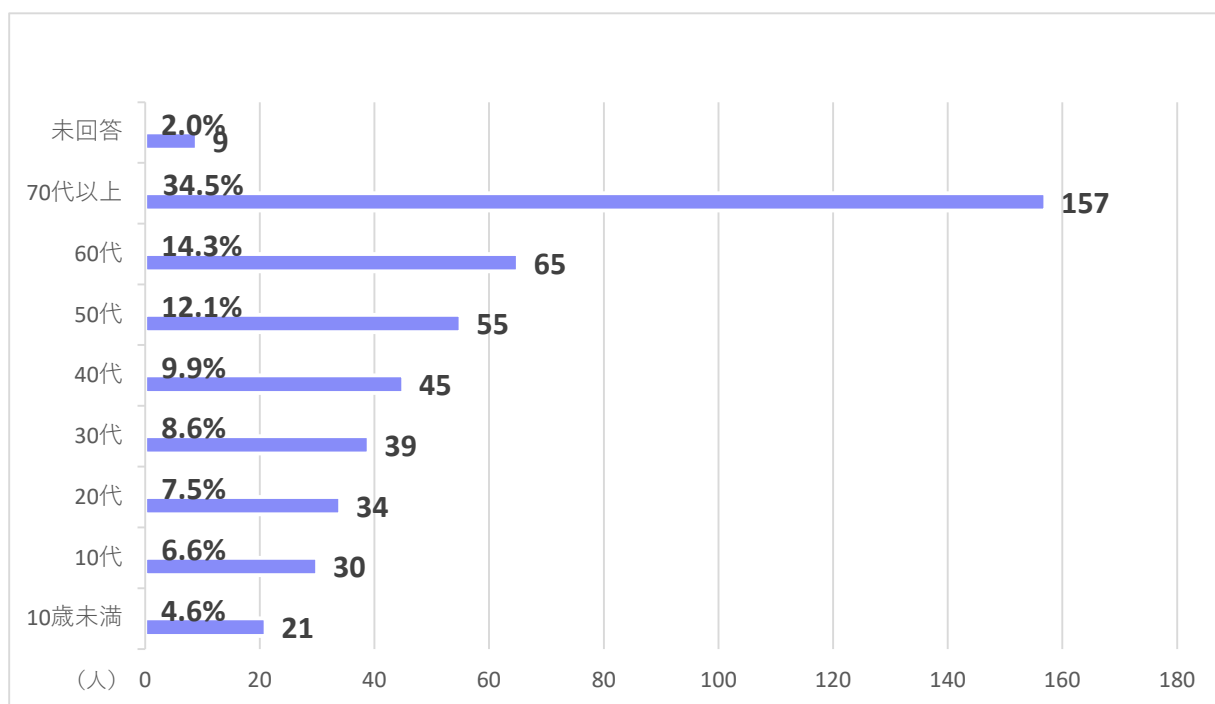
回答者の性自認(性別)については、「男性」が 50.8%、「女性」が 39.8%となっています。



③ 年齢

年齢層を選択してください。

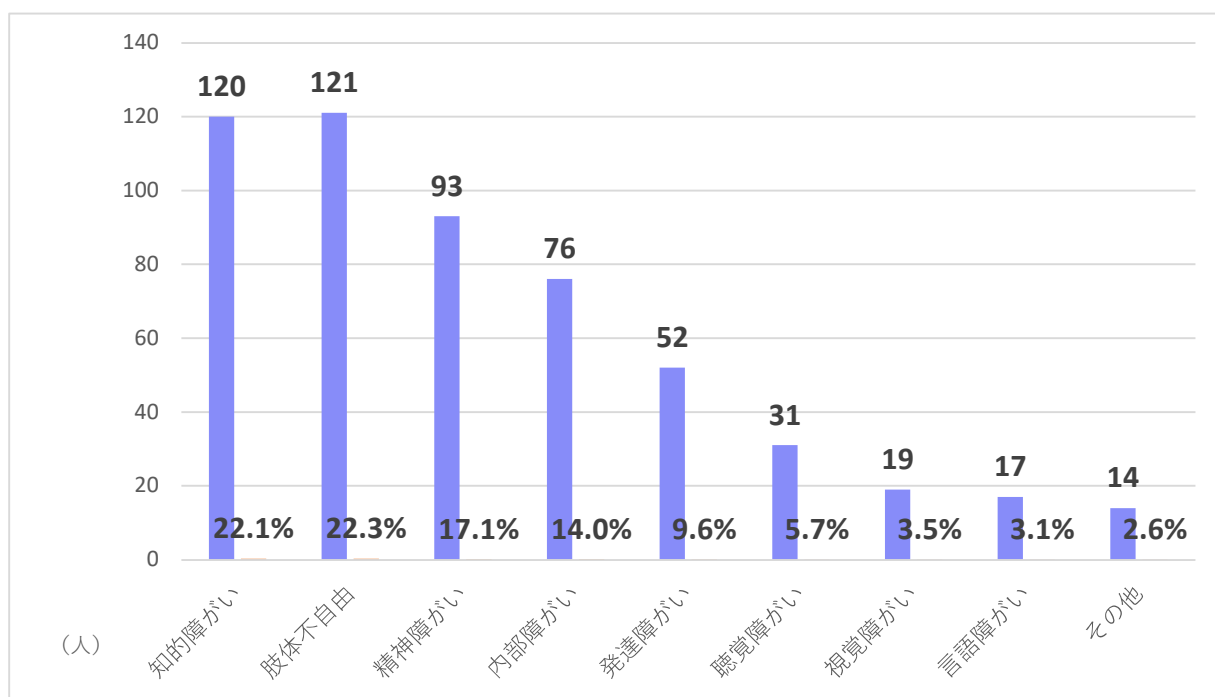
「70代以上」が多く34.5%、つづいて「60代」が14.3%となっています。



④ 障がいの種別

問3. あなたの障がい種別は次のうちどれですか。

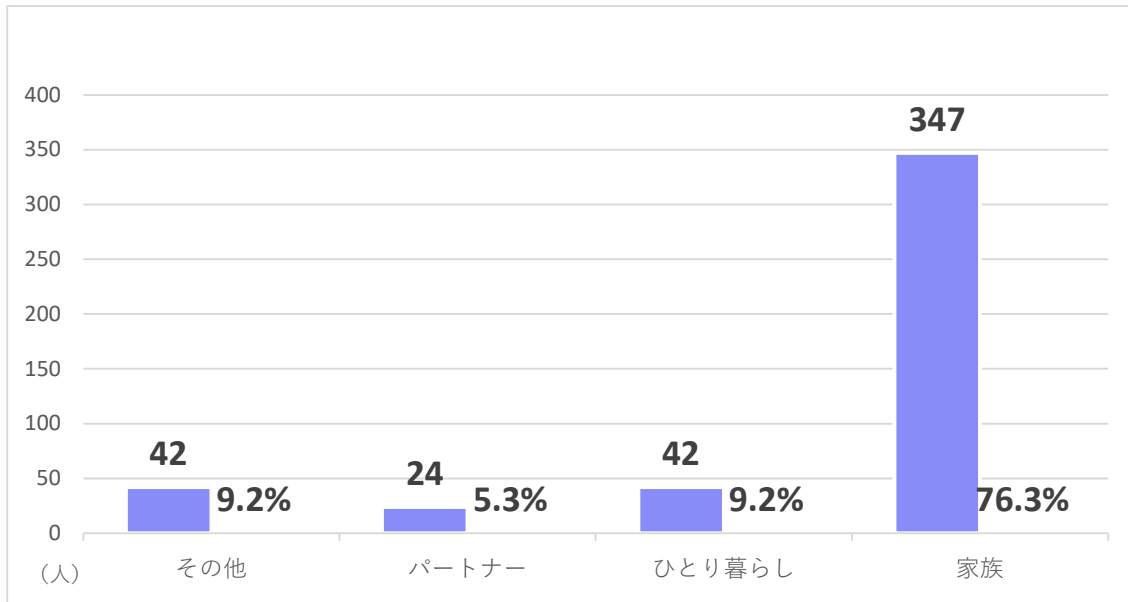
「肢体不自由」が22.3%、「知的障がい」が22.1%と最も高くなっています。



⑤ 生活の場

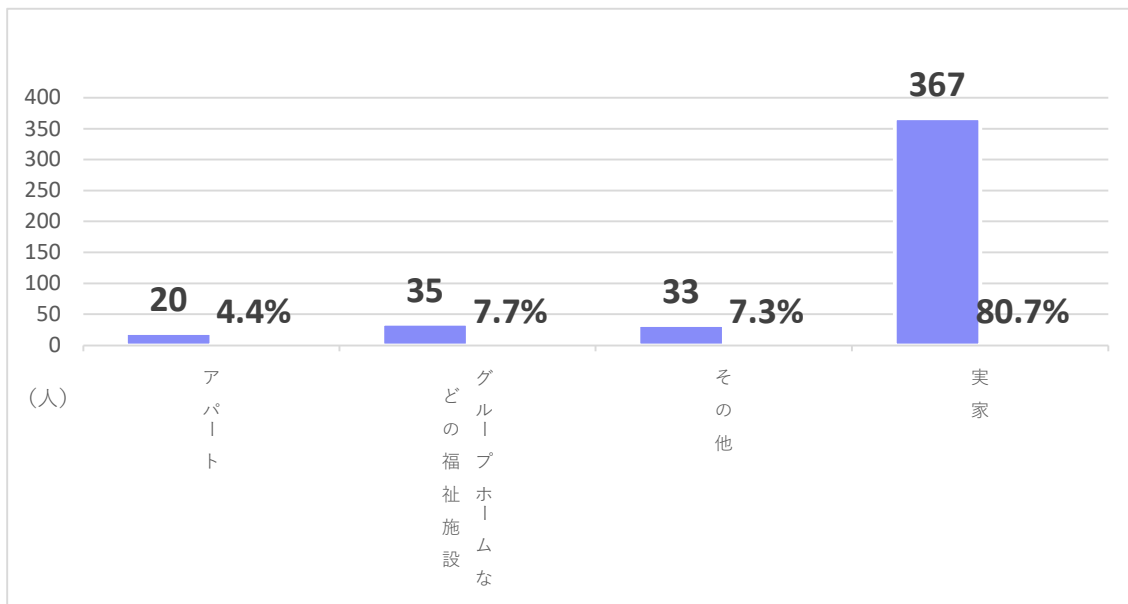
問4. いま、あなたは誰と暮らしていますか。

「家族」と回答した方が最も多く 347 人(76.3%)となっています。



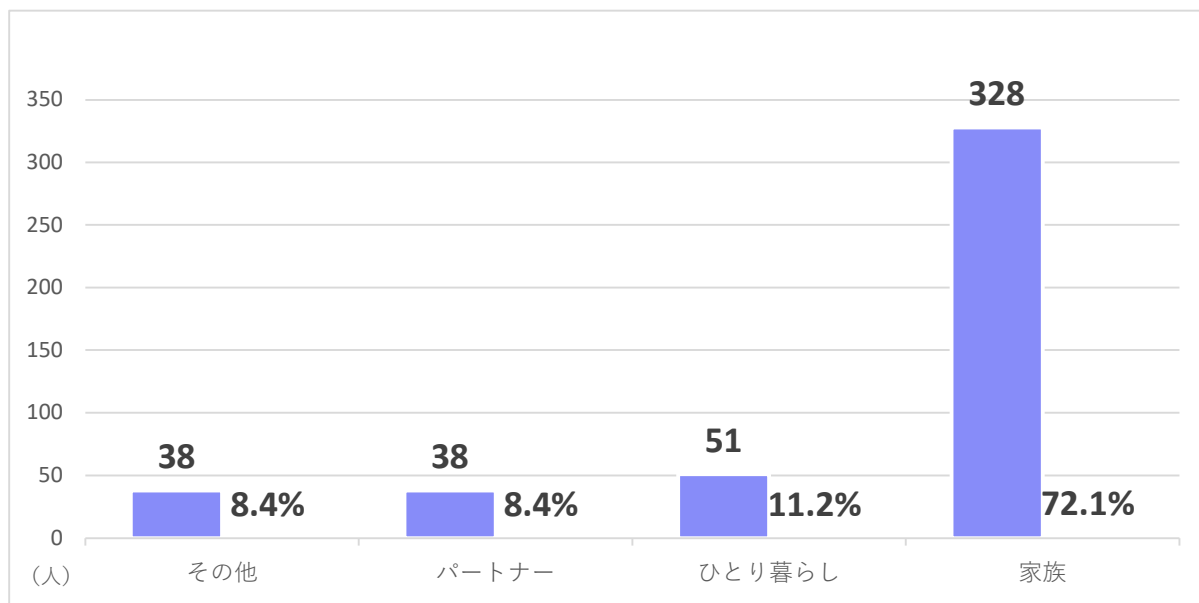
問5. いま、あなたはどこで暮らしていますか。

「実家」と回答した方が最も多く 367 人(80.7%)となっています。



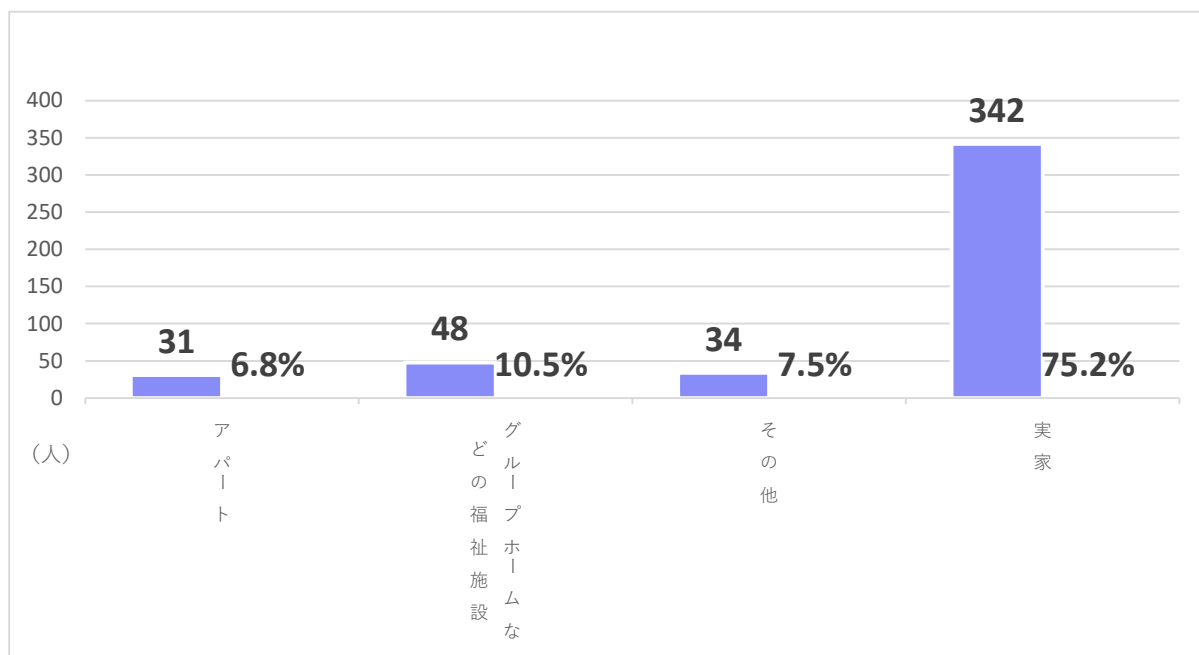
問6. 今後、あなたは誰と暮らしたいと思いますか。

「家族」と回答した方が最も多く 328 人(72.1%)となっていますが、問4と比較すると「パートナー」や「ひとり暮らし」と回答した方が増えています。



問7. 今後、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。

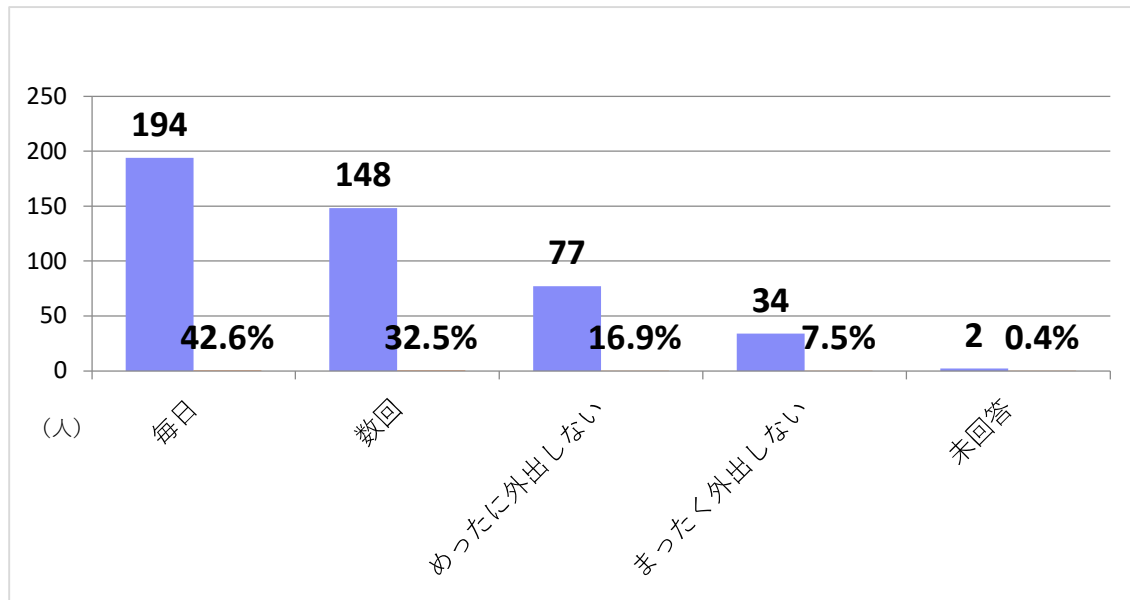
「実家」と回答した方が最も多く 342 人(75.2%)となっていますが、問5と比較すると「アパート」や「グループホームなどの福祉施設」と回答した方が増えています。



⑥ 外出

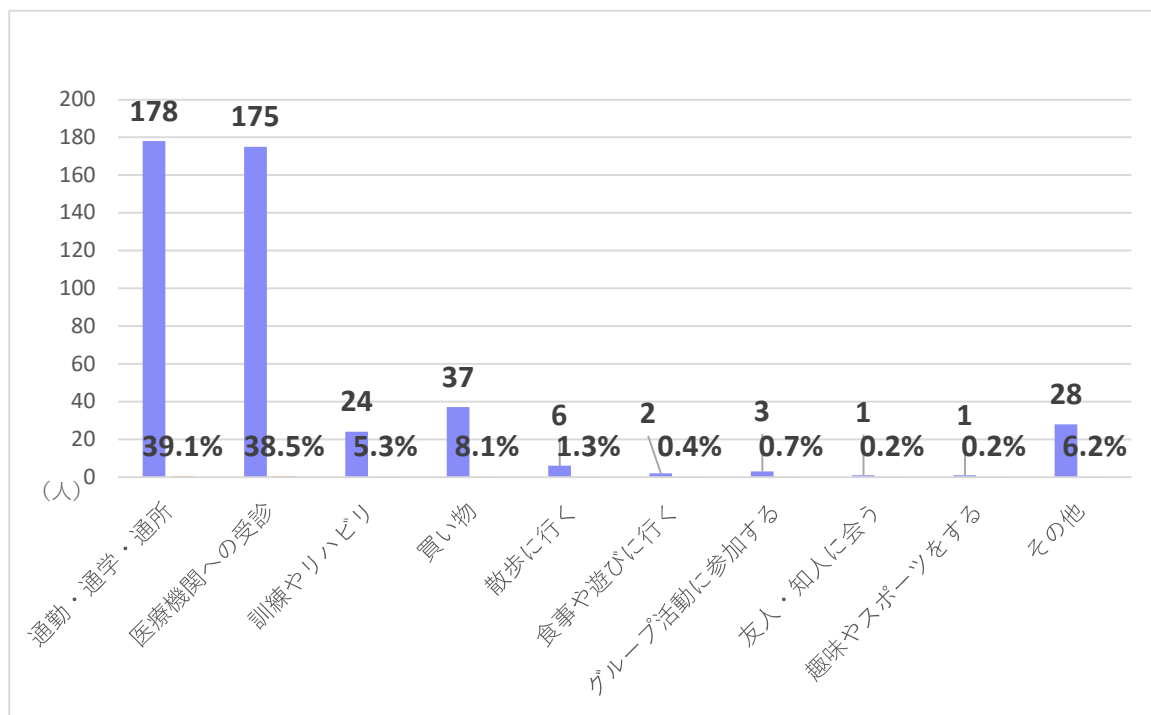
問8. あなたは1週間に、どの程度、外出しますか。

「毎日」との回答が最も多く 194 人(42.6%)となっていますが、「めったに外出しない」又は「まったく外出しない」と回答した方は合わせて111人(24.4%)となっています。



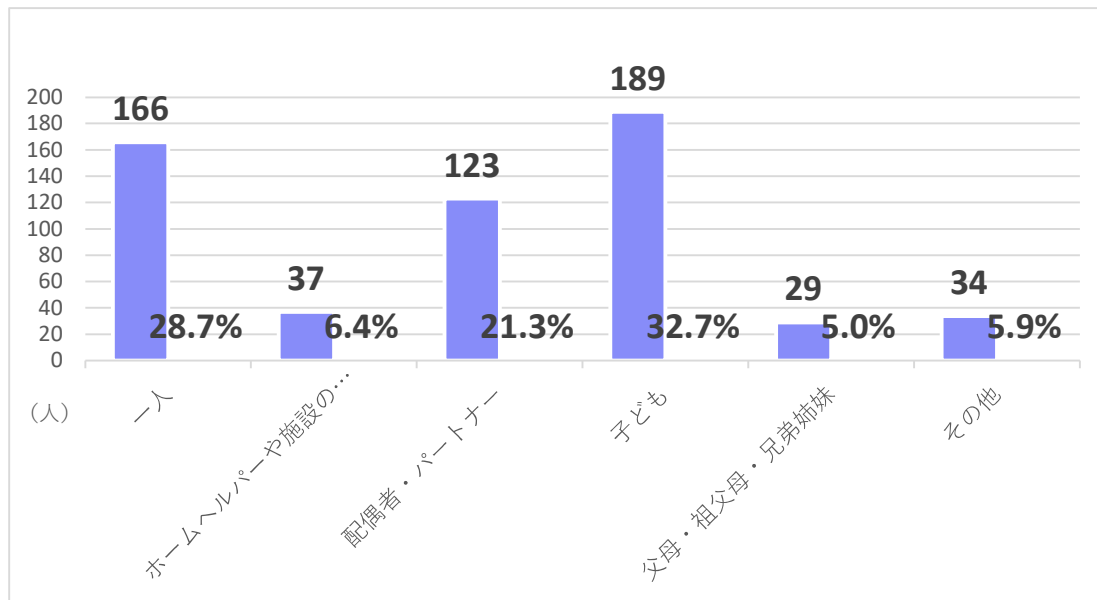
問9. あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

「通勤・通学・通所」との回答が最も多くは 178 人(39.1%)となっていますが、余暇活動に関連する目的での外出は極めて少数となっています。



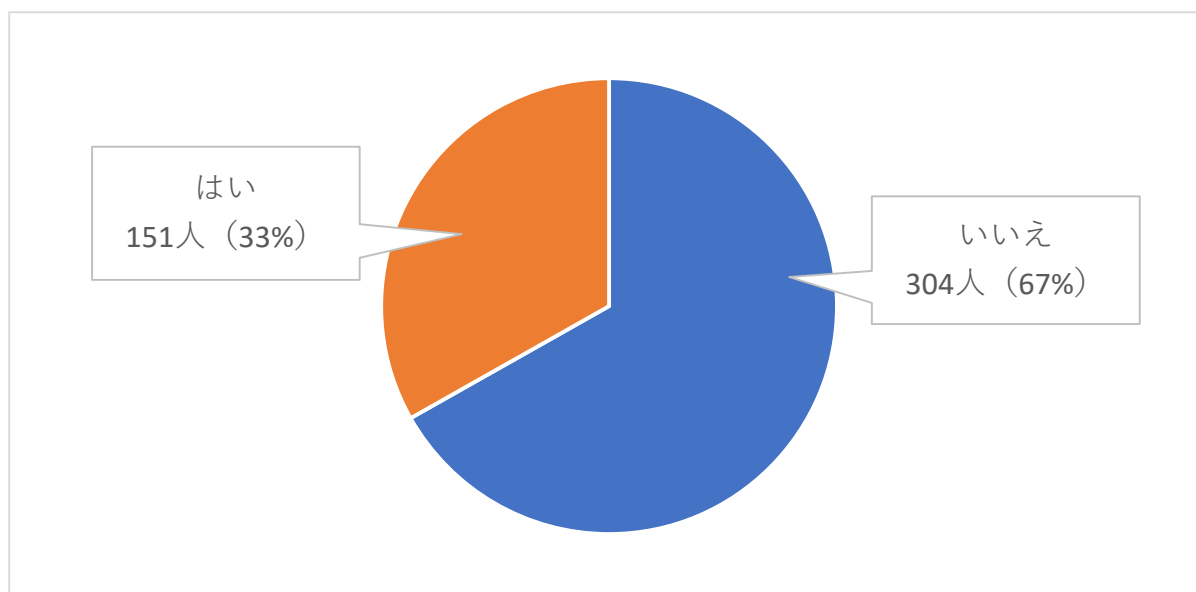
問10. あなたが外出する際、主に誰と出かけますか。

「子ども」との回答が最も多く189人(32.7%)となっていますが、「一人」と回答した方も166人(28.7%)となっています。



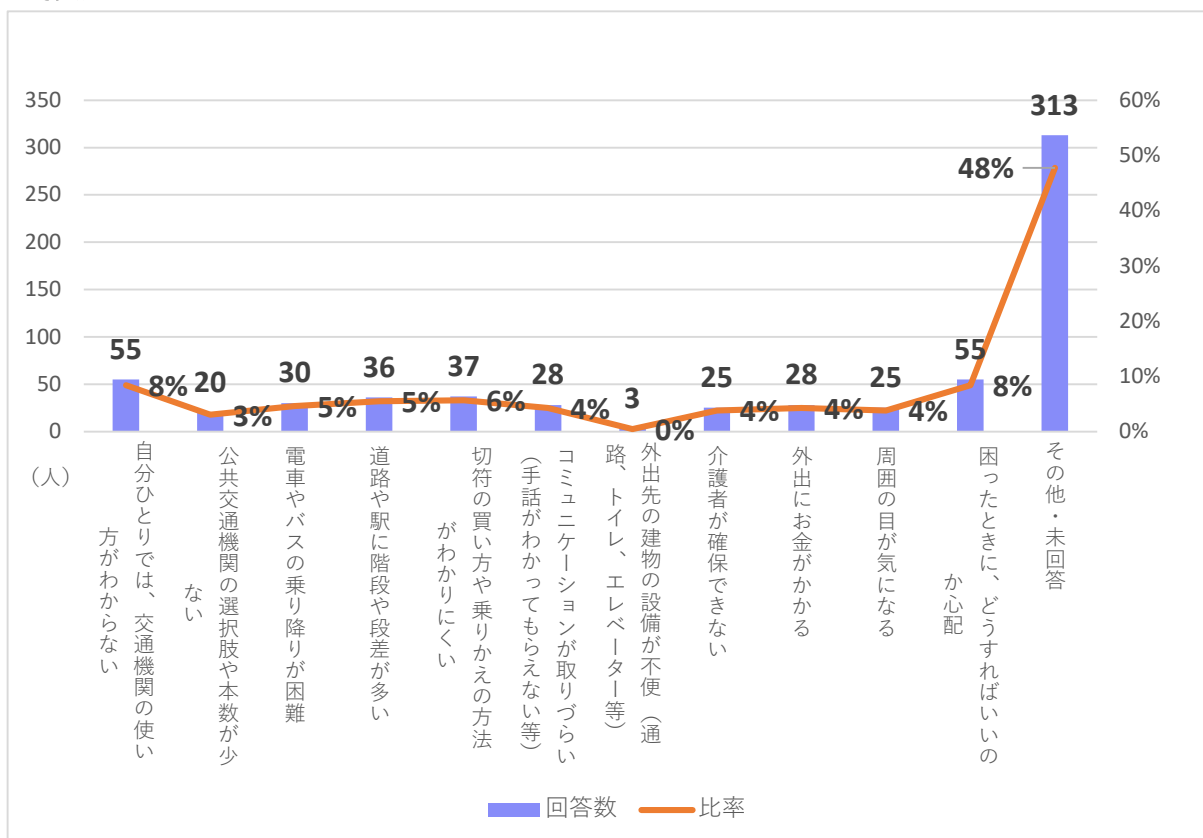
問11. あなたは外出するときに、困っていますか。

「はい」との回答した方は151人(33%)となっています。



問12. あなたが外出するときに困ることは何ですか。

選択肢より回答いただいた中では「自分ひとりでは、交通機関の使い方がわからない」「困ったときに、どうすればいいのか心配」という回答が多く、それぞれ55人(8%)となっています。ほかは回答が分散していることから、外出の際の困り事は多岐に渡ることが推測されます。

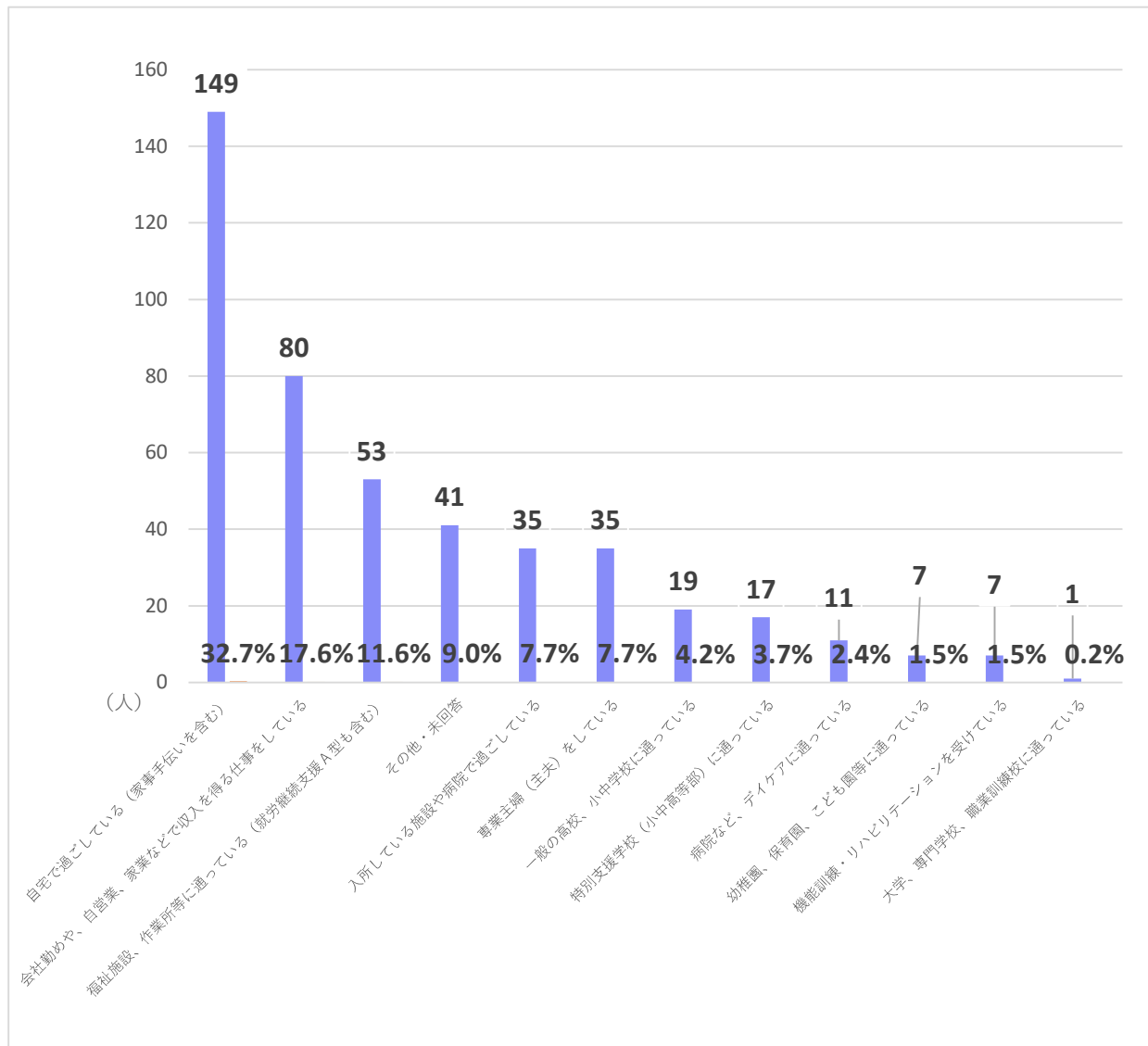


(問12)「その他」の回答について

- 市民バスが有料化したことで外出の頻度が激減した
- 障がい者駐車スペースが少ない
- 車が無いと外出出来ない
- 値段が分からない / 支払いで困ることがある
- 相手の話が聞き取りにくい、早口や小声、滑舌が悪いなどの言葉がはっきり聞こえないので相手に何度も話してもらうのが苦痛です。
- 寝たきり / 歩行困難 / 自力で長時間歩けない / 道路や歩道がでこぼで転ぶ
- 1人では外出しない / できない
- 介助者の体調不良時どうすればいいの不安
- 外出に対する不安が強すぎて必要な外出でも減多にできない
- 大きな音が苦手
- 人と一緒になるのが嫌。人が気持ち悪いと思っているため。
- 待つことができない。外食、病院、買い物は待つ時間が長い、利用できない時がある。また、理解がない病院が多く、待ち時間などの配慮がなく、心無い言葉をいう病院もあるため、行ける病院が限られる。

問13. あなたは、日中、主にどのように過ごしていますか。

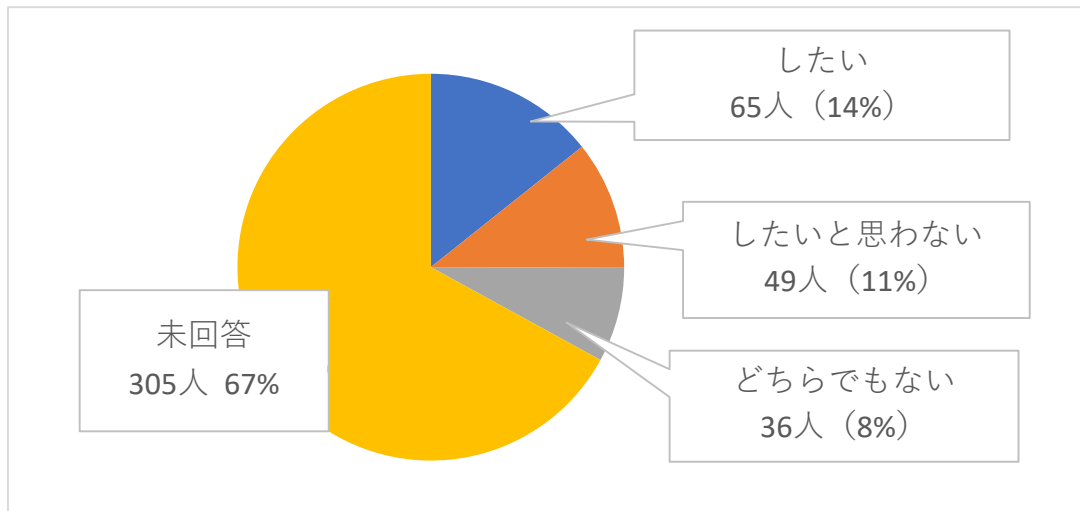
「自宅で過ごしている（家事手伝いを含む）」という回答が最も多く149人(32.7%)、続いて、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」という回答が80人(17.6%)となっています。一方で大学や専門学校、職業訓練校などの高校卒業後の進学は極端に低い割合となっています。



⑦就労について

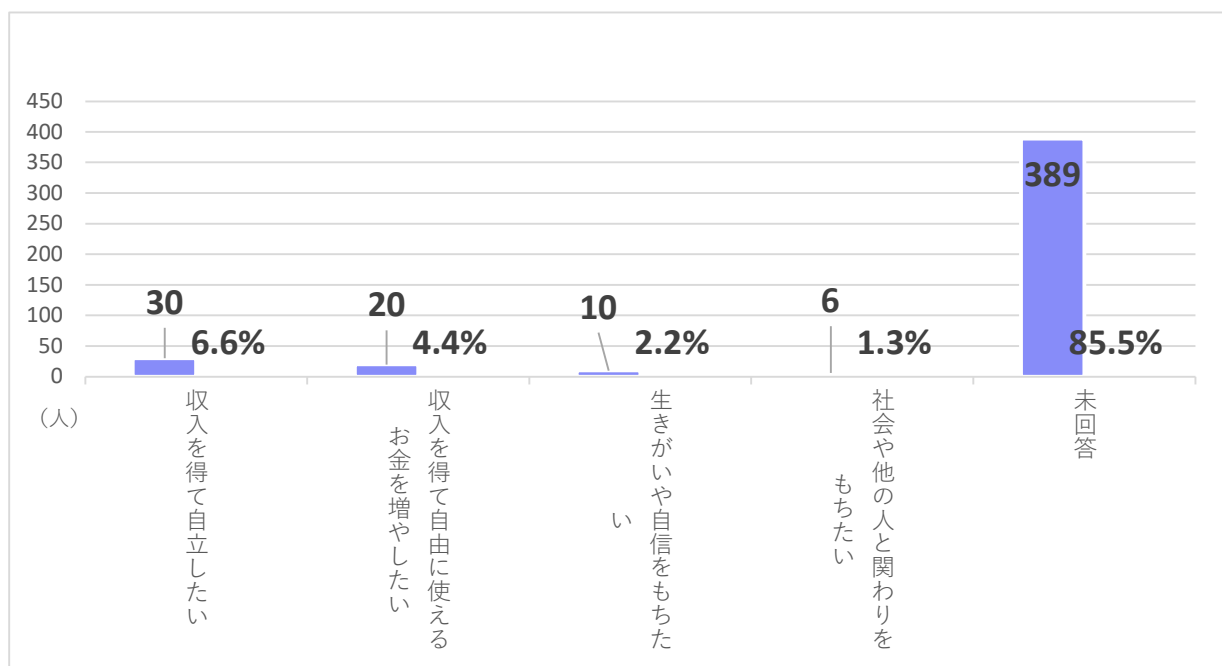
問14. あなたは、今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(現在、収入を得る仕事をしていない18～64歳が対象)

回答された中では「したい」が65人(14%)、「したくない」と思わないが49人(11%)と、仕事をしたいと思っている方が上回っています。(未回答67%)



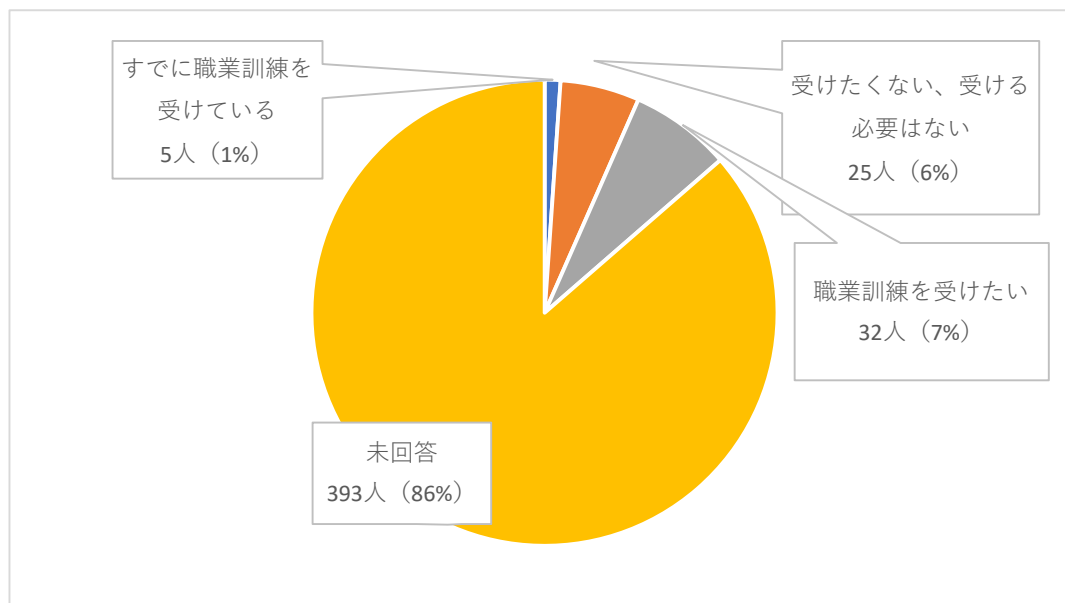
問15. 問14の理由について。(現在、収入を得る仕事をしていない18～64歳が対象)

回答された中では「収入を得て自立したい」が30人(6.6%)、となっています。(未回答85.5%)



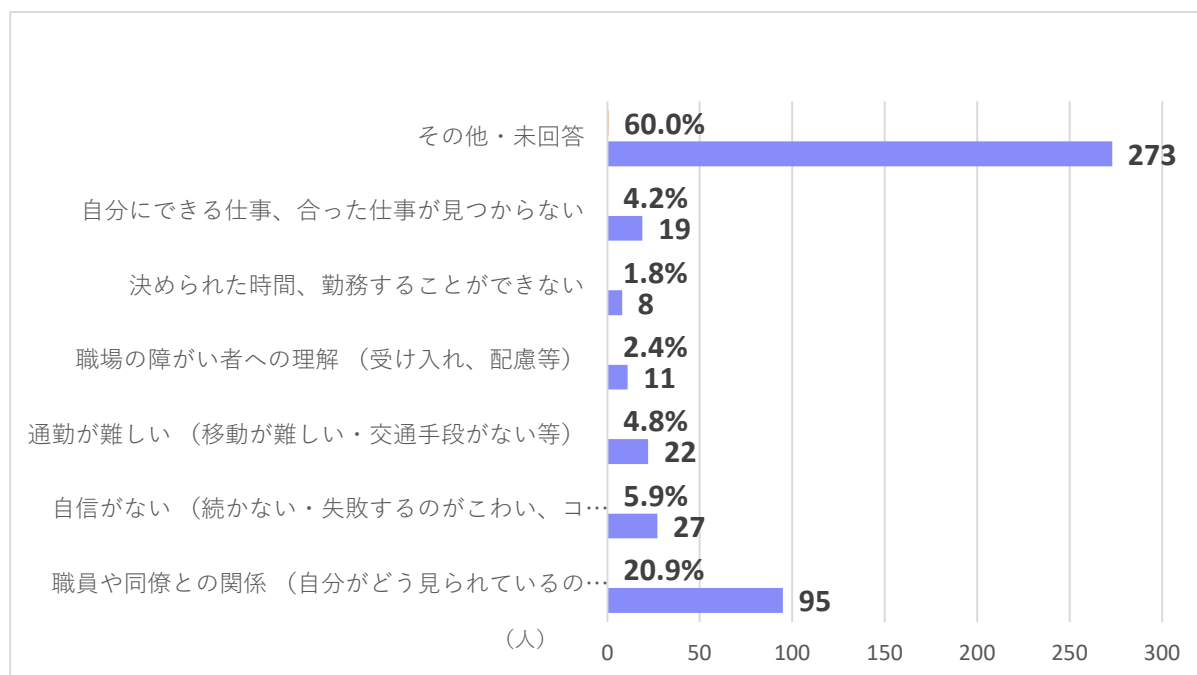
問16. 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(現在、収入を得る仕事をしていない 18～64 歳が対象)

回答された中では「受けたい」が32人(7%)、「受けたくない、受ける必要はない」が25人(6%)と仕事をしたいと思っている方が上回っています。(未回答 67%)



問17. 仕事について不安に感じることは何ですか。

「職員や同僚との関係（自分がどう見られているのか、溶け込めるのか等）」が95人(20.9%)となっている。(その他・未回答 60.0%)

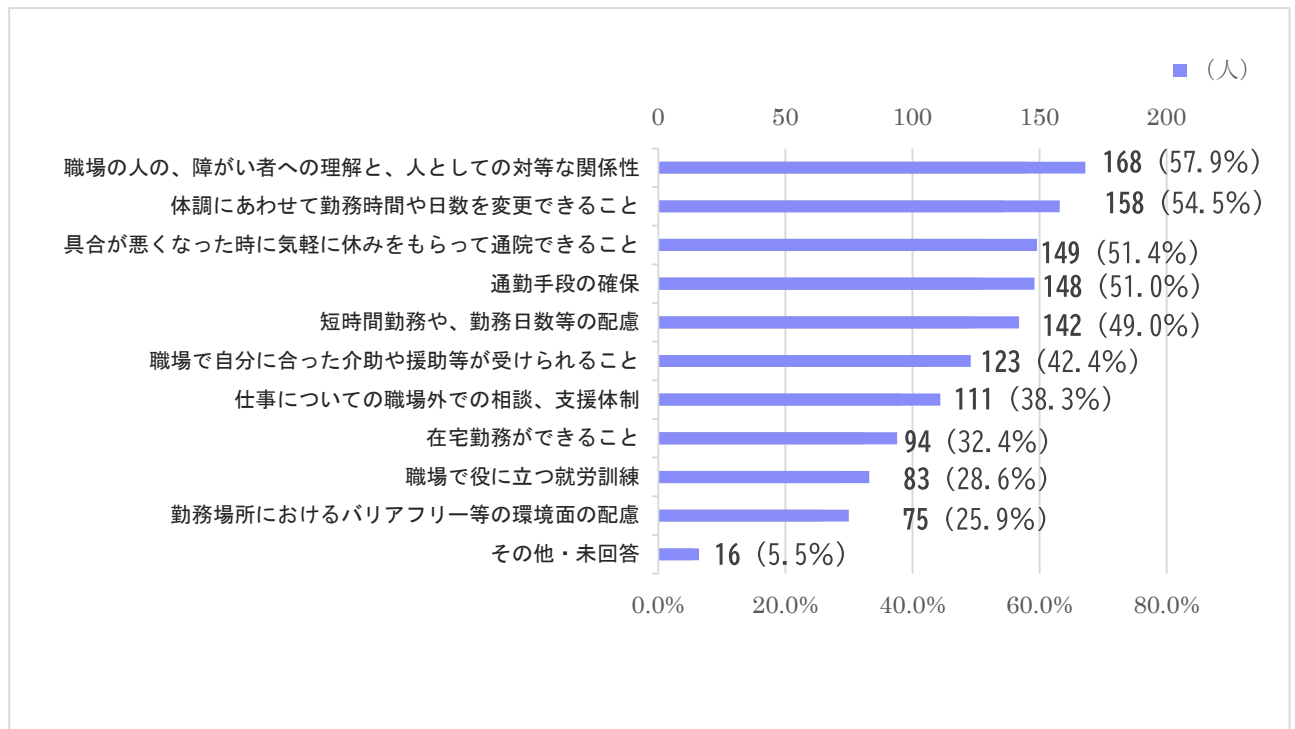


(問17) 「その他」の回答について

- 耳がきこえない
 - 乗合タクシーの予約がとれない
 - 今のところ順調に仕事できています
 - まだ子供が小さいので就労について想像できません
 - 体調が不安定なこと
 - 身体的にきつい時がある
 - 体調不良時の休職・収入などへの不安
 - 体調が安定していないので行ける日といけない日が出てくると思う
 - 仕事にもどることとで今までにうつ病が重くなった事があり、その時は本当に苦しくて、家族にもとても迷惑をかけたので。今は動けるくらいまでになったので
 - 療養後の体力
 - 仕事をしていないし、今後もある気持ちがないため不安は無し
 - 子供の支援にあわせなきゃと思うように働けない
 - そもそも意欲がない
 - 無職(後期高齢者のため)
-

問18. 障がい者の就労支援には、どのようなことが必要だと思いますか

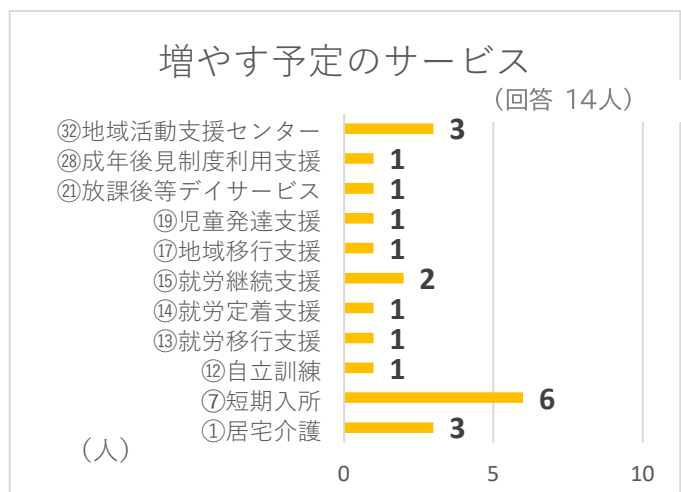
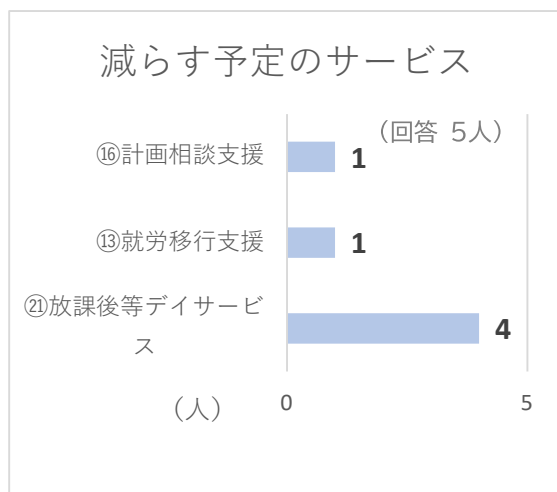
「職場の人の障がい者への理解と、人としての対等な関係性」という回答が最も多く168人(57.9%)となっているほか、「体調にあわせて勤務時間や日数を変更できること」という回答も158人(54.5%)とほぼ同じ割合となっています。



⑧障害福祉サービスの利用について

問19. 現在、利用中のサービスについて、今後3年以内の利用予定にあてはまると思うものに、それぞれ1つだけ してください

※「利用しているサービスがある」と回答した143人(31.4%)のうち、今後3年以内のサービス利用予定に増減があると回答した人の回答。同程度利用予定と回答した120人(86.3%)は省略。



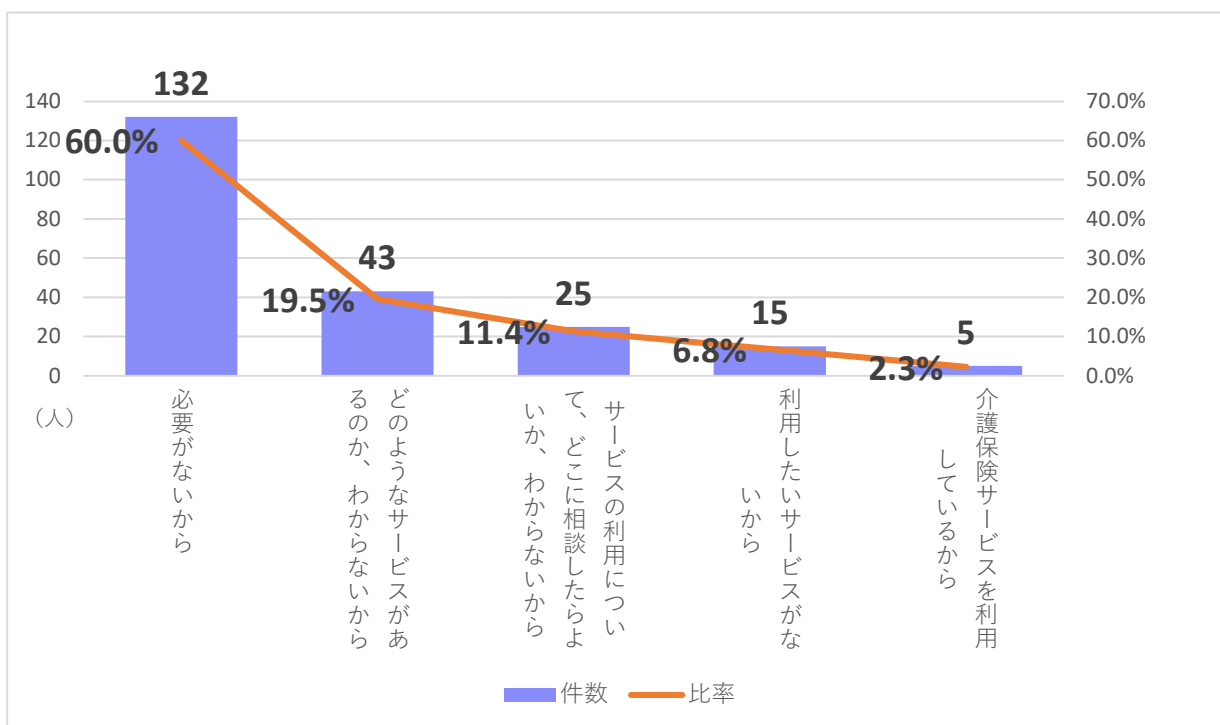
問20. 障害福祉サービスを利用している方で、今後3年以内に、必要になるかもしれないと思うサービスがある場合は、1つまたは2つまで、サービスの番号をご記入ください

(別紙「障がい福祉サービス一覧と解説」にある①～⑳の障害福祉サービスについて、回答の多い順に結果を表示しています。)

サービス種別	件数	サービス種別	件数
⑦ 短期入所	15	⑭ 就労定着支援	3
⑮ 就労継続支援	14	⑩ 自立生活援助	2
⑳ 基本相談支援	11	⑰ 地域移行支援	2
① 居宅介護	10	⑱ 地域定着支援	2
⑳ 移動支援	8	⑲ 児童発達支援	2
⑨ 生活介護	7	㉒ 地域活動支援センター	2
⑥ 施設入所支援	6	㉓ 訪問入浴	2
㉔ 成年後見制度利用支援	6	② 重度訪問介護	1
㉕ 医療型児童発達支援	5	③ 同行援護	1
㉖ 放課後等デイサービス	5	④ 行動援護	1
⑪ 共同生活援助	4	⑤ 重度障害者包括支援	1
⑫ 自立訓練	4	⑯ 計画相談支援	1
⑬ 就労移行支援	4		
㉗ 日常生活用具給付	4		

問21. 障害福祉サービスを利用していない方で、サービスを利用していない理由をお聞かせください。

問19で「利用しているサービスがない」と回答した312人(68.2%)のうち、「必要がないから」が132人(60.0%)と最も多い。一方で「利用したいサービスがないから」と回答した方15人(6.8%)、また、「どのようなサービスがあるのか、わからないから」や「サービスの利用について、どこに相談したらよいか、わからないから」と回答した方は、あわせて68人(30.9%)



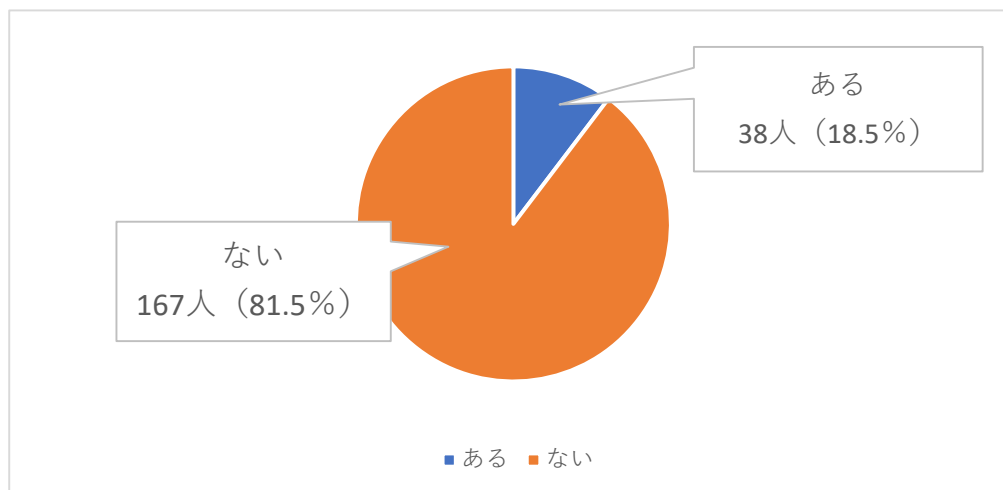
問22. 利用してみたい、または、今後3年以内に必要になるかもしれないサービスがある場合、番号をご記入ください（障害サービス未利用の方）

（別紙「障がい福祉サービス一覧と解説」にある①～③③の障害福祉サービスについて、回答の多い順に結果を表示しています。）

サービス種別	件数	サービス種別	件数
㉗ 基本相談支援	24	⑭ 就労定着支援	5
① 居宅介護	23	㉑ 放課後等デイサービス	4
⑦ 短期入所	15	㉓ 日中一時支援	4
⑮ 就労継続支援	11	㉔ 地域活動支援センター	4
⑩ 自立生活援助	9	⑥ 施設入所支援	3
㉙ 日常生活用具給付	9	⑪ 共同生活援助	3
⑫ 自立訓練	8	③ 同行援護	2
⑬ 就労移行支援	8	⑯ 計画相談支援	2
㉚ 成年後見制度利用支援	8	⑰ 地域移行支援	2
④ 行動援護	7	⑳ 移動支援	2
⑨ 生活介護	6	⑲ 児童発達支援	1
⑱ 地域定着支援	5	㉒ 障がい児相談支援	1

問23. 利用したい、または、利用しているが不便に感じるなど、制度やきまりを改善してほしいと思う障害福祉サービスがある場合、お答えください。

回答した205人(45.0%)のうち、「ある」が38人(18.5%)となっています。



(問 23) あると回答した人からの「改善案」について

社会資源・制度など

- 現在、加茂・田上地域での受け皿が少なすぎる（三条市の施設を利用している）
- 重度障害でも受け入れ可能になってほしい
- 障害に応じて手厚い支援を受けられる施設が欲しい
- 一人暮らしの支援として加茂市も行なってもらいたい
- 病院との関係があるのか
- 市町村によって対象者が異なるので困る
- 公費負担割合の増
- 一日中、施設にサービス職員が常勤する
- 何か問題が起きた際の保護団体があれば良い
- 具体的にどのようなことを行っているのかよくわからない。もう少しPRがあると安心。本来の目的に沿った援助が行われているのか心配とも思う

短期入所

- サービスの時間の延長、サービス提供者が家族や同居人という目線で見してほしい（現状は決められた範囲内でのサービスのみ）
- 現在市外の施設を利用しているが「近くで」利用したい
- 家族が面倒見れないときに預けたいのに施設が少なく市にない
- 金、土日にショートが使えない

- 週に4日利用させてもらっているが、お風呂は利用できませんと言われて断られている。年々大変になっている。1回でも入れてほしいのが本音です

居場所

- 三条市にある地域活動支援センターが理想
- 日中もグループホームにいられるように

移動支援

- 有料でもいいので送迎バスがあると利用しやすい
- 余暇でも利用できるようにしてほしい

就労支援

- B型でも雇用契約したい。社会保険に入りたい
- 賃金の値上げ
- 仕事の説明を分かりやすくしてほしい

児童発達支援

- 児童発達支援事業所が加茂市にもあるといいと思う
- 加茂市内にこのサービスができたら利用したい
- 市外で利用しているので不便さを感じる
- 幼や保育園からも支援を受けたい子供がいると思うので、早期に作ってほしい

放課後等デイサービス

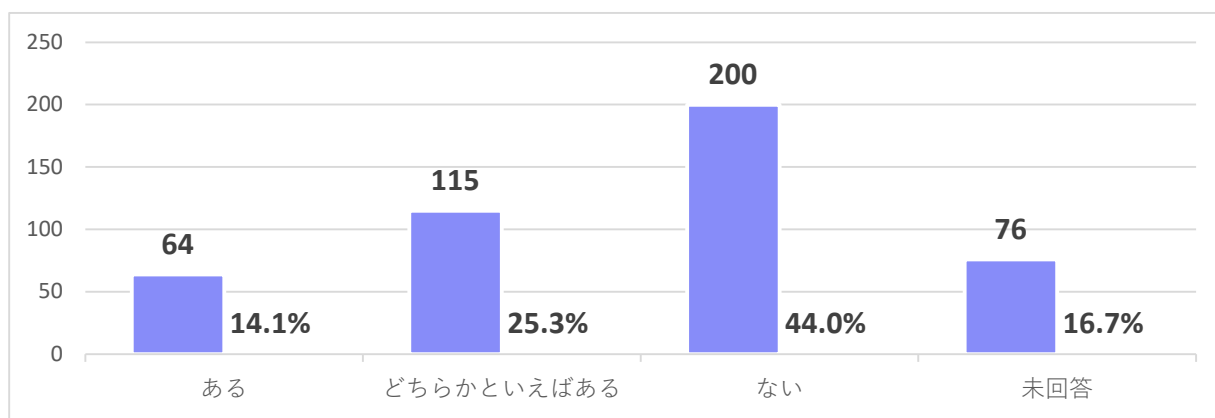
- 利用回数の制限の見直し
- 利用したいと思っているが施設が少ない又は定員いっぱいのため利用できないことがある。施設や定員を増やしてほしい
- 高校卒業～20歳まで利用可能に変更（理由）高校卒業後の交流の場として利用できたらいいと思います（メリット）18歳以下の生徒は卒業後の現実を知ることができる（現実には思っていた以上に大変です）
- 放課後等デイサービスがあることを、学校にもっと伝えて勧めしてほしい
- 児童の時に知っておきたかった
- 夏休み等の長期休み期間の際、利用時間が短くて困る。利用時間を長くする（平日と同じにする）
- 朝迎え9：00もう少し時間を長くお願いしたい
- 休日の早朝利用があると助かる

保育園

- 「㊤保育所等訪問支援」があるとよい。園内で障がい児に対しての適応差が欠けていたので、園に対して不快感や不信感を持ったため

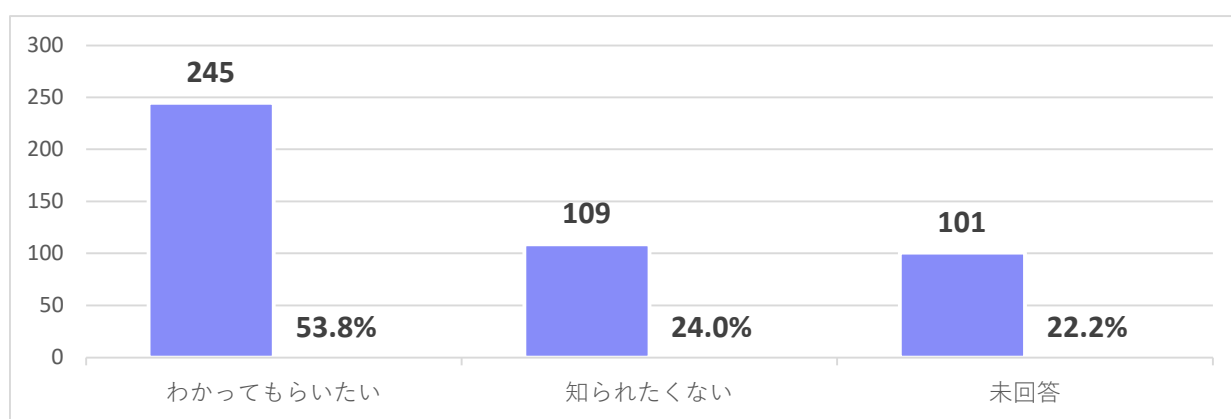
問24. 同じ症状や、困り感を持った人たちで集まる交流会に関心がありますか。

「ある」と「どちらかといえばある」との回答の合計が179人(39.4%)となっていますが、「ない」と答えた方はそれを上回る 200 人(44.0%)となっています。



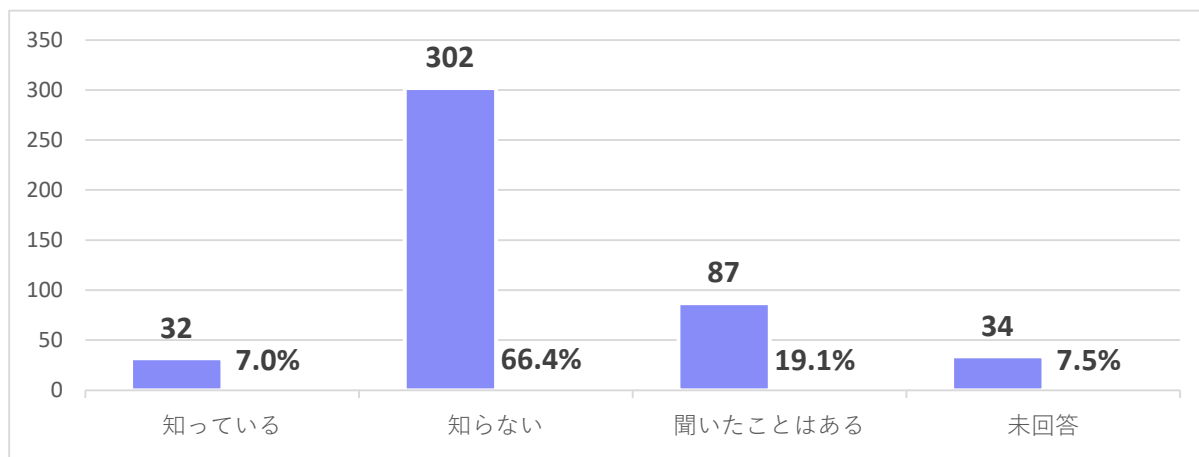
問25. あなたが障がいや困り感を持っていることを、地域や職場など周囲の人にわかってもらいたいと思いますか。

「わかってもらいたい」との回答が最も多く245人(53.8%)となっていますが、「知られたくない」と回答した方も109人(24%)となっています。



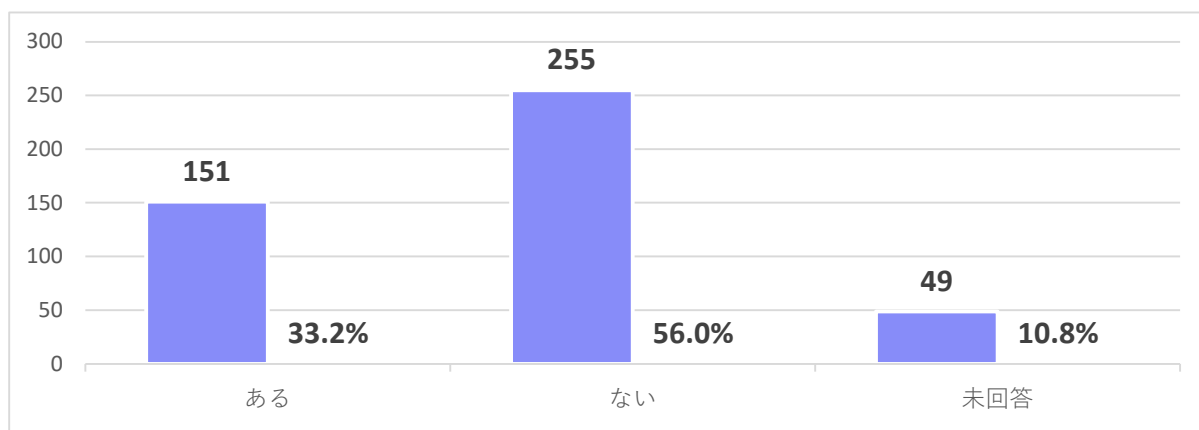
問26. 「障害者差別解消法」という法律について、知っていますか。

「知らない」との回答が最も多く 302 人(66.4%)となっています。



問27. 障がいを理由に嫌な思い(差別)を感じたことがありますか。

「ない」との回答が最も多く 255 人(56.0%)となっていますが、「ある」と回答した方も151人(33.2%)となっています。



問28. どのような場所で、どのようなことに、嫌な思い(差別)を感じましたか。
(問27で「ある」と答えた方)

社会

- 他人の目
- 周囲からの偏見
- 手帳を提示するとき
- 見知らぬ人から「ドロボー」と言われました多分税金ドロボーの意味だと思います
- 退院が決まったときに近所の方に不安に思われた
- 病状を本人が理解できない為、他者と意見が合わず協調出来ない。

施設

- 施設側から感じる「手に負えない感」がある
- デイサービスなどの福祉サービスの利用を制限された

学校

- 支援バスで暴れる子はない。といわれた。中学の見学で、なんで、学区外なのに見学にくるんだ、といやなかんじだった。
- 支援学級在籍の学校での交流学級への壁を感じることもある。
- 中学生からのいじめ
- 上級生からのいじめ
- 40～50年位前だが学校の先生から差別されていた

就労

- 職場の指導者から差別されていた
- 会社での差別

医療機関

- 医者で言う事を聞けずおこられた

家庭

- 家庭内で、理解をされない(障がい認めてくれない、責められる等)
- 男だからうごかないかいてほしい
- 望まない特別扱いをされた。家庭内で、食器洗いなどの役割をさせてもらえない

その他

- 詳しくは忘れてしまった
- 思い出したくない!

問29. 今後の対応改善につなげるため詳しく書いていただける場合は、ご記入ください。

理解不足など

- 障がい者への理解
- 障がいが重度の為、断られたことがある。
- 聞き返すと嫌な顔をされる
- サークルや教室等で、健聴者ばかりで会話や話し合いをして、自分の考えを聞いてもらえない。又、決まったことだけの報告のことも多い。
- 独り言で話していた時に、怪しい人と勘違いされ警察を呼ばれた。独り言を話すのは障害者にとって不安を取り除く為にやっている事かもしれないので、先入観を捨ててほしい。もし、それが「迷惑だ」と感じる方には誠意のある対応をしてもらいたい。
- 障がい者を見る目…当事者やその家族でないとの嫌な視線はわからないと思います。子供の頃、電車に乗った時にジロジロ見られたり、笑われたり、指を指されたりした。
- 小さい時の事もあり、時々トラウマになることも有る。
- 本人が子供の頃、外出先でパニックを起こし、見ていた近所の人に「ゴミの日に捨てたら」とか、見ず知らずの高校生たちに「将来あんな子供生まれてほしくない」とか、言っていたことが耳に入った。同居している義父に「こんなふう育てやがって、でていけ！」と言われたことがある。
- 保育園の頃、行事等で園に行った時に「頭が悪い～」などと言われた。
- 10 年位前、新潟市(当時住んでいました)で変形性股関節症で、足をひきづって歩いていた時後ろから自転車で走ってきた中年女性が私を追い抜きざまに「ドロボー」とさげんでいきました。私しかそこにはいなかったもので、私に向けられたものだと思います。多分彼女は私のことを「何もしないでお金をもらっている税金ドロボー」と思ったのでしょうか。障害者手帳を持っていても使うのをためらう人がいるのはこんなことがあるからと思いました。
- ドロあげ作業など地域共同作業に対し、健常者と同じ作業を強要された。地域活動に配慮をお願いしたい！
- 20年前、近所の方達に不快な思いをさせる行動があるか兄弟が呼ばれ聞かれ説明させられました。
- 発音がうまく出来ず、自分の意思をうまく伝えられないときせわしさにかずけて聞いていただけないことがあります。まだありますが、紙面が少ないので書けませんのであしからずお許しを。
- 今年4月に行きつけの美容院で「税金を払うために働いている」と言われた。その税金で暮らしているんだよ!と言われてショックだった家族にも言えなくて、ここで書いて少し楽になれたらいい。毎日が楽しいと思えないので精神障害者は目に見える障害はないけど、体調が悪くてなかなか外出できないことも知ってほしい。遊んで暮らしているわけではない。障害者＝目の不自由な人や知的、耳の聞こえない人ばかりでない。住みやすい加茂市になってほしいです。
- 市外の支援施設で、能力検査結果を伝えられる際に、スタッフの女性に「私、双極性障害ある人怖いんですね。」と言われた。
- 2年前くらいに年金事務所で障がいになったばかりであったが障害年金を受給するには、今後どのように手続きを踏めばいいのか尋ねたら、「その位の障害で」と言われ、とても悔しかった。
- 遊園地のアトラクションのほとんどに制限があり、まったく楽しくなかったので、30年くらい行ってない。
- 店員さんに変な目で見られることが多いです。万引きなどあるため仕方ない部分もありますが、あまり進んで利用しないようにしています。
- 本人に対し将来の生活の不安に対する答えをわかりやすい対応があれば等また教えるところ

ろ等(何かの福祉サービスなど)

- “認知症”家族が不衛生の可能性のある本人の食器洗いなどの仕事を嫌がる。
- 家庭内で、食器洗いなどの役割をさせてもらえない
- 自分のこと(生活上の)は自分で行いたいのだと思う”
- 歩行困難、骨粗鬆症:過去転倒して骨折したことが2回あり散歩させてくれない。
- 感情的になり易い家庭でも他の場でも誰かの役に立ちたいのだと思う。
- 家庭内部の事情に深く入って相談・対応する姿勢は日本においてタブーと化しています。そこを打破していかなければ救われる可能性があっても救われないうまま長い時間を意義なくつぶしていくことになるでしょう。
- 小学生の時、社会人になっても、イジメの様な事があった。
- いろいろ

就 労

- 過去に作業所で、自分の事を全てわかっているかのように言われてショックを受けた。
- お店で働いている時お客さまが来店されない日がつづいた。
- 職場の人に嫌なことを言われ上の人に話したら言っていないと嘘をつかれたこと。
- 昨年末頃前の職場でやり方でもめて今年5月頃応えんとうたい内部の別の部署で業務をして、最後6月頃他店の異動するように上司から言われました。障がい者雇用にもかかわらず何んのためにあるのかというぎねんをいただきました。
- B型事業所を利用している際に、個々の性格や持病の程度を無視され、「障がい者」として一括りにされて対応されるのは、差別と感じ、とても不快だった。一人一人の性格や病気の具合を知り、一人一人に合った対応や接し方をしてもらいたかった。
- 精神障がいについて理解してもらえない。シフト勤務で理解のある配慮をあまりしてもらえない。

公共機関

- タクシー運転手が制度を理解しておらず、金銭の授受がうまくいかなかった。
- 加茂の駅は障がいのある人間に配慮された駅ではないです。いつもとてもひどいと思っています。大きな差別を感じます。考えてくれてないんだな、、、と残念です。
- 電車で通勤していたが、本人も良い悪いがわからないため駅で悪いことをしたらの事を考え、電車を使う際だれか付き添わないのであれば使用しないで欲しいと言われた。
- 4年前くらいは市外の就労継続支援事業所まで電車で通っていたのですが(1人で)他の人に、何か言われたらしく、電車に乗れなくなりました。
- JRのみどりの窓口が減り、乗車券の購入が難しくなりました。
- 電車のキップを手帳を見せても制限された。
- サービスエリアの障害者用トイレを使用した際「車椅子じゃないのに使うな」と言われた。

医療機関

- 医療機関で「自閉症なので言う通りにできないかもですが大丈夫か」と電話で聞いたら「大丈夫です」と感じ良く対応してくれたので行ってみたら、看護師さんに「お母さんは向こうに行って下さい」と言われて子どもが怖くて患部をみせられなかったら先生に思いっきり怒鳴られた。私が「言ってもわからないです」と言ったら、「最初からお母さんが押さえなさいよ」と言われた。
- 診断書提出に対してあまり良い返事をもらえなかった。
- ある病院に子供が風邪をひいたようなので連れて行ったところ先生に「私は患者と対等に話せる人を診察するがそうでない人とは診察はしません」と言われた。(子供が知的障がい者)
- 医療機関に受診したとき難聴で聞き取りにくいいためゆっくりおおきな声で話してくださいとお願いしても最初はそのように話してくれるがだんだん早口で小声になったりして聞き取れなくなる。なんどもお願いするのは私としても嫌なので理解したふりをしてしまう言葉

- を変換する機械などがあつたらいいと思う。
- 体調不良で総合病院の内科を受診した際、精神科の薬を服薬しているという理由で診断書を持って来いと内科医に怒鳴られた。
 - 今でも医者に行った際には医師に冷たくされる時がある。
 - 遠い過去に医療機関にて、親である私ができないことを依頼したところ「私の仕事ではない」と言いながら治療？してもらった
 - 病院が変わると、慣れるまでちょっと大変です。

学 校

- 支援学級、学校を利用していることが差別を感じます。
- 本人が交流級に行きたいと思っても常に居るわけではなく親しくする友人もできず、切ない思いをしている。
- 小学校で上級生の子に廊下で障害者は通さないと、いやがらせを受けましたが、その後、解決いたしました
- 学校(高校)時代、教師、友人(同級生)から心ない態度、言動があり学校を中退した。
- 小学校の時に、学校で先生に自分の意見を聞いてもらえなかった。
- 中学校の頃いじめにあい、学校へ行けなくなった。
- 学校で、普通学級の友達に差別される。
- 主に学校です。もう何年も前のことですが配慮をお願いするとできません。とそのクラスにいることをやめろと言わすような言葉やのぞんでいない投葉の話を持ち出されすごく根に持っています。
- 中学生の時、特別支援生徒だからいじめみたいなものをうけていました。中一の最初普通クラスで勉強していましたが一応支援学級にも所属していたため(連絡ノートとかで)支援学級の担任から障がい者が普通クラスで勉強する行為が苦痛だったのか支援学級に来るように圧を掛けられたりなにかしらちゃちゃをつけられたり、人より動きが遅いので提出物の期限までに出すことがなかなかできなかったのですが(人より脳の働きが遅かったため)それをりゆうにこれができないから支援学級に来なさいと言われてたり何も悪いことしていないのになんか怒られ指をつかまれたりもしました。しかたなく支援学級に行き進路は一般の高校に行きたいですって言うても支援学級の生徒(障がい者)は特別支援学校に行くんです！！と強く言われ中3にあがる離任式で特別支援学校に勉強しに行ったので良かったんですけど、その当時教育委員会にいうと検討もしていましたがどうせ教育委員会は先生の味方でその上の文科省にいても教育委員会にいてくださいってたらいまわしにされるだけだろうと思ひ辞めました。これじゃ何のために教育委員会があるか分かりませんね。そして会議はたまにしかししない何のための教育委員会だよ！！このやろう！てんかんの影響で脳の発達を遅らせる薬をのんでたのでその影響で物を覚えるのがゆっくりで親はあせっていたのかなかなか少しづつ学ばない自分の頭をなぐろうとしたり、両親がしょっちゅう喧嘩して、母親と自分で川に飛び込み死ぬみたいな話も出ました。どっちともすごくいやでした。
- 学校、保育園の先生、バスの運転手、あばれる子は、イヤな顔をされる。学校の先生が、発達障害の子でも、おとなしい子と、手のかからない子と、区別する。バスに乗せられないといわれた、と言っても、市役所の人、しんけんにきいてくれなかった。
- 学童保育の利用を相談したら断られました。放課後デイサービスや支援手当等について、聞かなければ教えてもらえなかったもので、療育支援相談などの際に案内して頂きたかった。通常学級の保護者から発達障がいの子と一緒にいると騒いで迷惑をかけられそうだから部屋を別々にしてほしい等、公衆の面前で偏見と差別的な発言をされたことがあります。

保育園

- 保育園の頃、時短保育からだったり、行事の参加ができないことがあった。
- 保育園に通園しているとき、親子遠足への参加に嫌な顔をされた。お昼寝ができないのを理由に他の園児よりも早く迎えに来てくれと言われた。職員が休憩できないからと言われ

- た。
- 以前利用していた保育園で、他児の制作活動の妨げになるので登園を遅らせて(製作活動が終了してから)来るよう言われた。また、担任の先生がお休みの為、代わりの先生では対応できないので預かれない(園に来ないでほしい)と言われた。これらのことがあり、市役所の方々の協力もあり、転園した。
 - 兄弟が保育園に通園していた数年前、延長保育をお願いしていましたが、「こういう子で延長保育は前例がない」と言われた(結局預かってもらえました)。下の子が生まれ育休中だった時に先生がいないという理由で早く迎えに来るよう言われていました。(通常15時半降園ですが15時に行っていた)妹も早く帰らなければいけないためかわいそうでした。平等に預かってもらえるべきだと思いました。
 - 診断もされて、配慮等を園に求めた時に、「こんなことがあって大変だ、集団行動がなかなか参加することが難しくて対応に困ってます」と言われた。診断もついていたので、園側(担任)に加配をつけてもらうよう話をすると「市役所と相談」や「職員を雇わなければいけないので時間がかかる」と言われた。結局卒園まで園側から具体的な話もなく、卒園間際に専門員の方にすすめていただいた事業所の開始ををはじめたが「なんでもっと早くこうゆう制度を利用できなかったのか？」と専門員の方が園側に言われたとのこと。園側が障がい児受け入れ可と掲げているのに知識もなく対応が悪くストレスがたまった。
 - 子供の預け先について、障がい福祉の窓口で相談中、1人の職員から「両親2人で園に行つて「お願いします」って頭を下げてくるとかしない」と言われた。他にも不満なことがあり担当を変えてもらった。今はこども未来課もあり、安心して相談できる窓口があるためありがたい。
 - 保育園の担任から給食をむりやり食べさせたり、人格を否定されるような発言や泣く度に責められたりした。今でもトラウマになり現在も PTSD で治療中。2年前位、市役所に相談にいった時、社会福祉協議会の職員に責められるような発言をされて泣いてしまった。小学校の担任や養護の先生からもイジメ、パワハラを受けていた。加茂の学校の教師にいい思い出はない。

市関連施設・選挙の投票所など

- どのような場面でも付き添いにばかり説明される。(相手の顔が本人には向いていないと思う)
- 選挙会場がバリアフリーでなく複数名の介助が必要だった(2名の家族が対応した。以降、選挙は行っていない)
- 一昨年、期日前投票で一人で職員さんに付いていただいたのですが、そばについているだけでただ待たせて悪い感が強く、それ以来投票に行くのを渋るようになりました。もう少し気の利いた援助がほしいです。
- だいぶ前になるが選挙で期日前投票に行った時に当日に来る事ができない人以外は受付けないと中年の男に言われ、それから選挙の投票には行かなくなった。同じ言葉でも話し方がある。
- 投票に行くときスリッパに履き替えるのが大変なので、体育館に入るのに労力がかかる。
- 春頃、市役所でいろいろ相談に行ったが頭から変わらないですと言われた。
- 市役所で対応してほしいどうすれば処分にクレームがついている。
- 公共施設に行くと大人や特に小さい子にじーと見られたり、前に立ってまじまじと見る。親もそれを注意したりしない。災害とかあって避難所とか行く場合、それがとても怖い。行きたくない。
- 古い公共施設のあるところの話ですが子供の無職証明書をもらい行ったとき、職員全員のいる中で障がいに配慮のない言い方をされた。
- 市民プールを利用した時、男子の着替え室に子供を1人でいかせなければいけなかったの、こまりました。男性で援助してくださる方がいればよかったのと思います。

問30. 受けてうれしかった配慮や支援はどんなことがありますか。

理解・思いやり

- 席を譲ってもらった時は有り難いと思いました。
- 「お母さん、今まで、がんばりましたね」とか、ささいな声かけでもうれしかった。
- 「大丈夫ですか？」と声をかけてもらえるだけで(騒いでいる時など)心が楽になる時があります。
- 地区の新年会等に普通に参加させてもらえること。
- 当事者を知ってもらい、理解してもらおうこと。見守ってもらうこと。
- 自然な支援。(可哀想と思わずに普通に自然に)
- 強制されない時
- 何事も周りの理解が一番うれしいです。
- 対人間なので気持ちが伝わります。理解のある方の支援は多少うまくなくとも気持ちが伝わります。
- 足の手術を受けて、また普通に歩けるようになる前に大きな荷物を持っていたら、駅の階段で見知らぬひとがごく自然に荷物を持ってくれました。失礼な人もいますが、自然に配慮できる人も結構いるのだと思いました。
- とにかくよりそって話を聞いてくれて、こちらの要望にとりあえずやってみる姿勢を見せてくれること。一言目に「できません」と言われるほどいやなことはないです。

障がい福祉サービス・制度

- 相談支援専門員の方が不安や疑問にとにかく寄り添ってくださった。
- 児童発達支援(療育)。放課後デイサービス。保育園の転園に協力していただいたこと。
- 週3回通っているデイサービス施設で、とても配慮の効いた言葉文脈で連絡帳記入があり、安心どころか幸福をも感じる。
- ディや生活介護、相談員さん等親切に対応していただき感謝しております。
- 今は雪椿の舎に行っていますが、みなさん親身になってくれています。
- 看護はお世話されている。
- 手帳の所持で、多くの割引サービスを受けられること。
- 障害者割引サービス
- 医療費の支援
- 内部障がいの為、配慮されたことがない。タクシーチケットの配付はありがたい(多くほしい)。
- タクシー代半額
- 身体障害者結婚祝い金
- 今年になり、デイサービスの利用を始めた。
- 障害者自立支援法が決まって働けたこと
- 就労移行支援
- 普通に働けないので、生活面でお金が不足していて支援などしてもらったこと。
- 大人になってから難聴者への情報保障として要約筆記があることを知り、難聴者として要約筆記者の育成という活動に関わり、いろんな人と知り合えたことが良かったことと思う。
- 日常生活用具給付の手続きを親切に教えていただき、利用させてもらいました。
- デイサービスについて、相談にのってもらった。

就労

- 就労移行支援、就労継続支援の手続きについて、詳しく教えていただいた。
- 自分でインターネットで就労支援Bの存在を知って連絡した。その後、担当より説明を受け(手続きなど)今に至っている

- 体調や天候等によって、仕事の量を調整してもらったり、休みにしてもらったこと。最寄りの駅等への送り迎えをしてもらった事。
- その時の症状に合わせた作業内容を提供して頂けたこと。

公共機関

- かもんバスを利用し、降りる時に「大丈夫ですか」と声をかけてくれる運転手さんがいる。一言かけて下さることがとてもありがたい。

医療機関

- 病院受診時などなどで玄関に待機するコンシェルジュ的スタッフさんが車イスの手配や片付けなどを優しい笑顔で手伝ってくれる。

子どもの支援

- 子供が保育園、小学校、中学校と先生方や介助員たちに恵まれてしっかり療育していただき成長できたと思う
- バスが自宅前まで来てくれること。学区外の小学校のため、支援員さんもつきそって安全にバスに乗せてくれるので、助かってます。
- 小学校の先生、友達が声をかけてくれる。楽しく学校に登校しています。
- 修学旅行で健常児、支援学級の子もみんなで行けて、楽しかった、うれしかったといっています。周りの子たちの理解があったのが大きかったと思います。
- 美術の先生がつきっきりで絵のことについて教えてもらったこと。
- 問29嫌な思い(差別)の出来事があった後、すぐに市の方が別の担当者をつけてくれスムーズに入園のための動きができて助かった。市と園で連携を取ってくれて安心した。
- 放課後サービスで。理解しようと先生たちがいつも親切にしてくれている。
- 保育園の頃から障がい理解のある介助員さんの存在にとっても助けられています。お友達がいなくても介助員がいるからさみしくなかったと本人が話していて、交流授業でクラスの子供たちとスムーズにかかわったり仲よく遊べるように配慮していただいて嬉しかったです。放課後デイサービスも利用させて頂いて、学校以外の方と交流しながら自立や社会性を学ぶいい機会になってありがたいです。
- 保育園で加配の先生をつけていただけだったので、安心して通園できています。保育園だけでなく、療育など身内以外にもサポートしてくれる方がたくさんいるのは嬉しいです。
- 小中と地元の学校で過ごせて、支援学級から普通の学級への境目があまりなかったこと。

市関連施設など

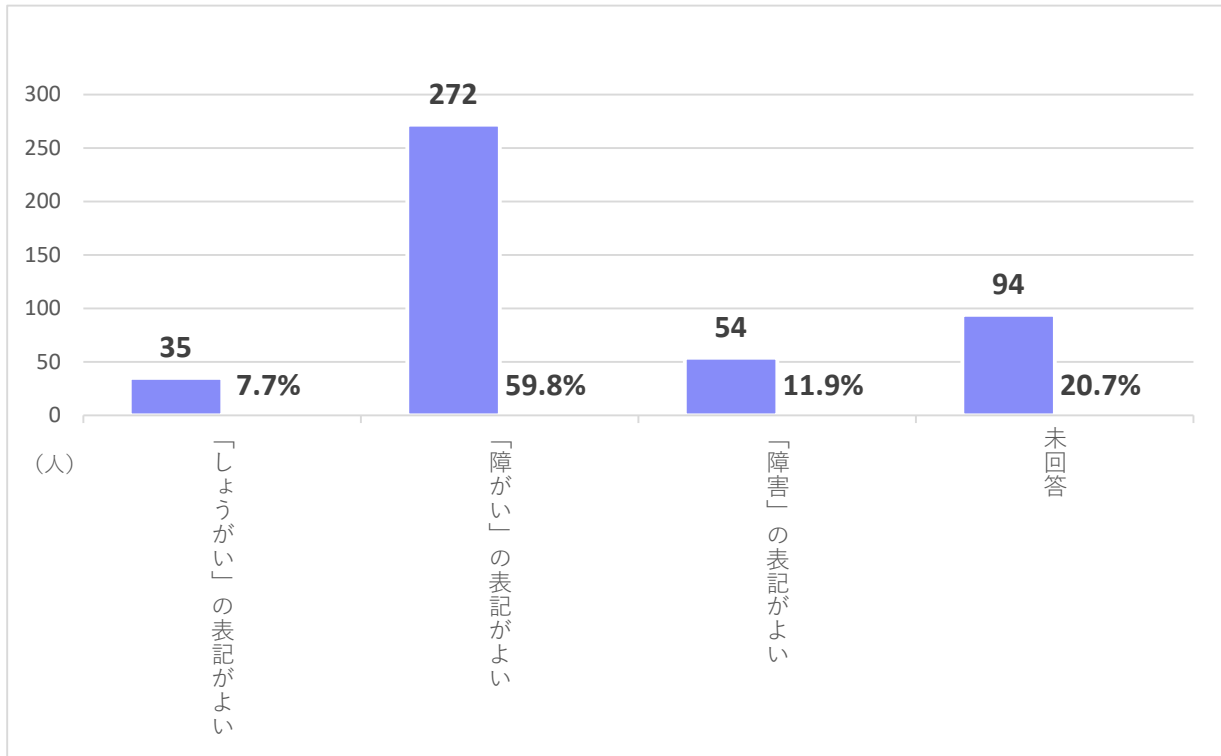
- こども未来課や健康福祉課の方々には障害への理解があるため、いつも丁寧な対応をしていただいととても助かっています。
- 加茂市健康福祉課障がい支援係の皆さんから、加茂市の助成金や福祉に関する申請をする際、親身になって対応して頂きました。とても安心して申請ができました。また、やまびこ作業所のスタッフさん並びに保健師さんに大変暖かいお言葉を頂きました。心から感謝申し上げます。

その他

- 必要なく配慮・支援受けたことはありません。
- 別にこれと言ってもない
- 障がい者になってよかったことはありません。悪く言う人ばかりです。悪いイメージしかないようです。

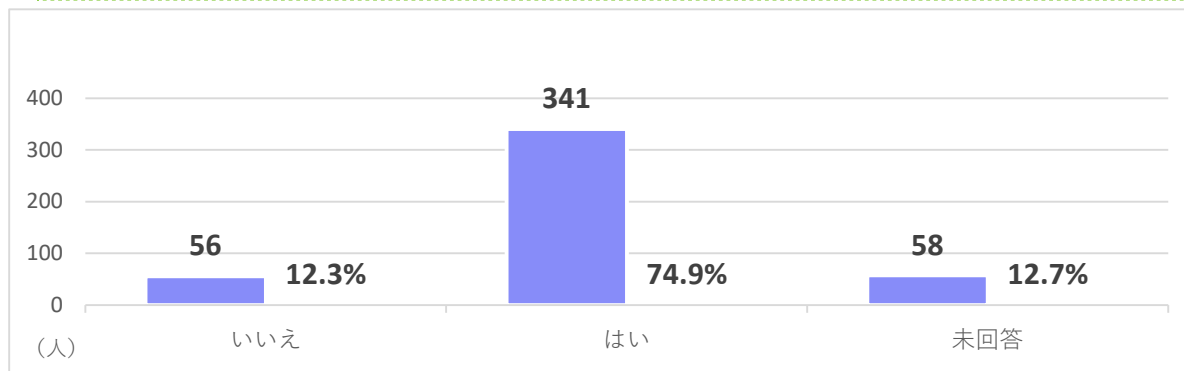
問31. 加茂市では、法律等のほかは、「障がい」と表記しています。その表記について、ご意見をお聞かせください

「障がい」の表記がよいとの回答が最も多く、272人(59.8%)となっています。

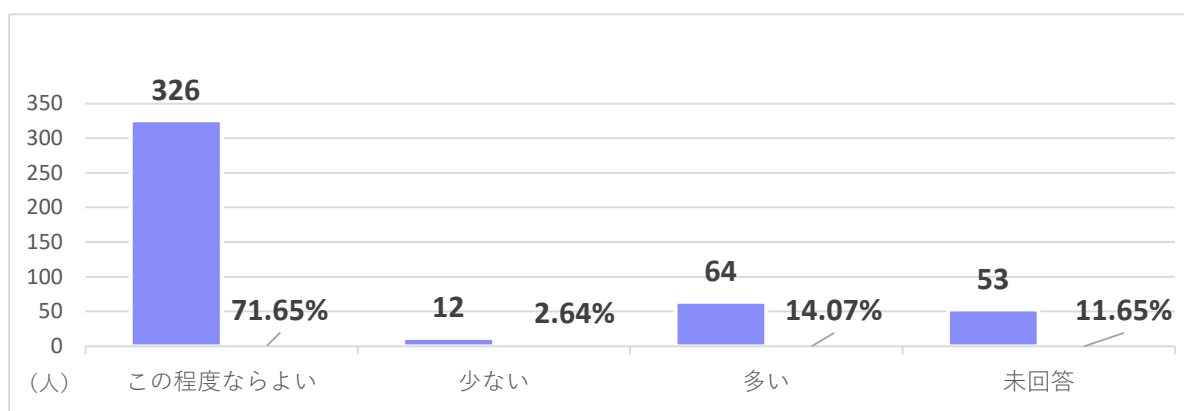


アンケートについて

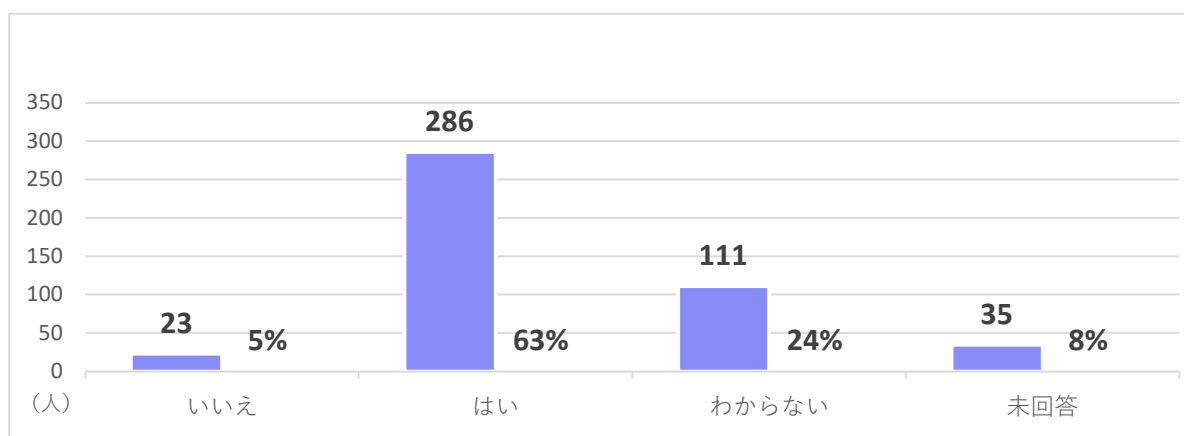
① 質問は、わかりやすかったですか。



② 質問の数はどうでしたか。



③ このようなアンケート調査に、今後ともご協力いただけますか。



以上